

令和 6 年度

事 業 報 告 書
決 算 報 告 書



社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会

目 次

令和 6 年度 事業報告書

□うきは市社会福祉協議会組織図	1
□うきは市社会福祉協議会組織構成、役員名簿、評議員選任・解任委員会委員名簿	2
評議員選出区分一覧、第三者委員名簿、常設委員会委員長名簿	3
□うきは市社会福祉協議会運営理念、基本目標、令和 6 年度事業報告概要	4
Ⅰ 総務・企画部門	
《総務係》	5
1. 法人運営	5
2. 各部門の総合調整、活動支援	8
3. 福祉給食	8
4. 管理・経営（指定管理）	9
5. 福祉用具の無料貸出	10
6. 公益事業（葬祭事業）	10
7. 豪雨・地震等災害支援	11
《企画調整係》	11
1. 調査・企画・広報事業	11
2. 介護予防・生活支援体制整備事業	12
3. 地域公益活動についての研究・実施	13
4. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働	14
5. 第 4 回うきは市社会福祉大会	17
Ⅱ 地域福祉部門	
《地域係》	17
1. 委員会研究事業	17
2. 連絡調整事業	17
3. ふれあいのまちづくり推進事業	18
4. 共同募金配分金事業	24
5. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業	29
6. 生活困窮者等のための地域づくり事業	31
7. たすけあい献血推進事業	33
8. 移送サービス支援事業	33
《相談支援係》	34
1. 生活困窮者自立支援事業	34
2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	36
3. 成年後見事業	37
4. うきは市障害者相談支援センター	37
5. 不登校・引きこもり対策相談支援事業	40
6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業	41
7. 高齢者等住まい・生活支援事業	42
8. 資金貸付事業	44
Ⅲ 在宅福祉部門	
1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）	45
2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）	46
3. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）	47
4. 制度補足サービス	49
5. 連携・協働事業	49

IV その他	
1. 実習・見学受入状況等	50
2. 講演、事例報告への職員派遣	51
V 令和6年度 寄付者名簿	
1. 香典返し寄付	51
2. 一般寄付	54
3. 物品寄付	54
□ 令和6年度事業報告付属明細書	55
令和6年度 決算報告書	
1. 決算総括表	59
（1）資金収支決算総括表	61
2. 計算書類	63
（1）法人単位資金収支計算書	65
（2）資金収支内訳表	66
（3）法人単位事業活動計算書	67
（4）事業活動内訳表	68
（5）法人単位貸借対照表	69
（6）貸借対照表内訳表	71
（7）計算書類に対する注記	73
（8）社会福祉事業事業区分資金収支内訳表	77
（9）社会福祉事業事業区分事業活動内訳表	78
（10）社会福祉事業事業区分貸借対照表内訳表	79
（11）公益事業事業区分資金収支内訳表	81
（12）公益事業事業区分事業活動内訳表	82
（13）公益事業事業区分貸借対照表内訳表	83
（14）地域福祉拠点区分資金収支計算書	84
（15）介護保険事業拠点区分資金収支計算書	88
（16）障害福祉サービス事業拠点区分資金収支計算書	90
（17）障害者就労支援拠点区分資金収支計算書	91
（18）地域支援拠点区分資金収支計算書	93
（19）指定管理拠点区分資金収支計算書	94
（20）葬祭事業拠点区分資金収支計算書	95
3. 財産目録	97
4. 監査報告書	101

令和7年3月31日



うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会	20名以上24名以内
執行機関	理事会	10名以上11名以内
監査機関	監事	2名
常設委員会	評議員選任・解任委員会	5名
	地域福祉活動計画策定委員会	21名
	契約締結審査会	7名
	法人後見審査会	5名
	貸付調査委員会	9名
	葬祭事業運営委員会	10名

役員名簿 (令和7年3月31日現在)

(敬称略)

役 職	氏 名 (選出区分)	
理 事 (会 長)	高 山 敏 枝	(識見を有する者)
〃 (副会長)	河 北 和 彦	(識見を有する者)
〃 (副会長)	加 藤 一 昭	(識見を有する者)
〃	大 熊 孝 則	(識見を有する者)
〃	東 多喜子	(識見を有する者)
〃	物 部 義 則	(自治協議会)
〃	末 金 良 幸	(自治協議会)
〃	國 武 雅 子	(民生委員児童委員協議会)
〃	足 立 光 二	(保健・医療関係者)
〃	西 見 峰 子	(社会福祉法人の役職員)
〃	平 田 眞 弓	(ボランティア連絡協議会)
監 事	三 浦 隆 文	(財務管理に識見を有する者)
〃	高 木 新一郎	(社会福祉事業に識見を有する者)

評議員選任・解任委員会 委員名簿 (令和7年3月31日現在) (敬称略)

構 成	氏 名
外部委員	石 井 スエ子
外部委員	熊 谷 幸 一
外部委員	佐 藤 景 一
監 事	三 浦 隆 文
事務局員	天 野 宏 一

評議員選出区分一覧（令和7年3月31日現在）

区 分	区分の内訳	定 数	現 数
住民組織	自治協議会	4名以内	4名
当事者の団体及び 組織	老人クラブ	1名	1名
	障がい者福祉協会	1名	1名
	精神障がい者家族会	1名	1名
	母子寡婦福祉会	1名	1名
	子育て・育児団体	1名	1名
	在宅介護者の会	1名	1名
社会福祉に関する活動 を行う団体及び組織	福祉委員	2名以内	2名
	ボランティア連絡協議会	1名	1名
	農業協同組合	1名	1名
	人権擁護委員会	1名	1名
民生委員・児童委員 またはその組織	民生委員児童委員協議会	1名	1名
社会福祉事業者関係	社会福祉施設（社会福祉法人）	1名	1名
	介護サービス事業連絡会	1名	1名
保健・医療・教育等の 関係機関・団体	小中学校長会	1名	1名
	P T A連絡協議会	1名	1名
	保健・医療関係機関・団体	2名以内	2名
地域福祉推進に必要な地 域の主要な諸団体	商工会	1名	1名
	青年会議所	1名	1名
計		20名以上 24名以内	24名

第三者委員名簿（令和7年3月31日現在）（敬称略）

選 出 区 分	氏 名
学識経験者	楠 原 利 春
学識経験者	高 橋 和 子

常設委員会委員長名簿（令和7年3月31日現在）（敬称略）

委 員 会 名	委員長名
地域福祉活動計画策定委員会	大 熊 孝 則
契約締結審査会	國 武 雅 子
法人後見審査会	江 藤 武 夫
貸付調査委員会	江 藤 武 夫
葬祭事業運営委員会	石 井 忠 孝

うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとり一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等に対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

令和6年度 事業報告概要

令和6年度は、コロナ禍以前の生活を徐々に取り戻しつつあり、本会が推進する「よりあい」や「福祉小座談会」の開催も増加しており、生きがいづくりや見守り活動など様々な地域活動の回復も見受けられます。一方で、コロナ禍や物価高騰等の影響による、多様で複合的な地域生活課題が顕在化する傾向にあり、社会的孤立や経済的に不安定な方からの相談が増加しており、ケースに応じて本会の実施事業や関係機関、社会資源と連携しながら、早期の課題解決に努めました。併せて、今年度から新規事業としてうきは市より受託した、「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」に於いては、フードバンク事業整備の一環として、1月に株式会社セブン・イレブン・ジャパンとフードドライブ実施に関する協定を締結し、企業との協働による食を通じた助け合いのプラットフォームの展開に向け一歩踏み出すことが出来ました。

また、コロナ禍の影響により10年ぶりの開催となった、「第4回うきは市社会福祉大会」に於いては、永年に亘り社会福祉事業に尽力頂いた功労者や団体を顕彰すると共に、うきは市が被災した令和5年7月の豪雨災害を含め、近年多発する自然災害への備えとして、平時に於ける地域での声掛けや見守りをはじめ、様々な地域活動や関係性の構築が災害時に有効に機能すること、ひいてはその取り組みの積み重ねが地域共生社会実現へと繋がることについて学び、広く発信することが出来ました。

介護保険及び障害福祉サービス事業に於いては、前年度対比で増収となるも、計画していた目標に至らず、当初予算より収入減少となりました。

ワークサポート白鳥の家（障害者就労支援事業）に於いては、休止していた就労移行支援事業を今年度末で廃止し、次年度に就労継続支援B型事業所の定員を増やして事業運営を進めるため、既存の生産活動の見直しや新たな作業の開拓を行い、円滑に移行出来るよう努めました。

葬祭事業に於いては、アンケートの意見や葬祭事業運営委員会の提言に基づき、故人の想いと遺族に寄り添う福祉葬儀の充実を図ると共に、平成16年に完成した本館の老朽化に伴う屋根改修を実施しました。今後も計画的に施設整備を適時行い、利用者に優しい運営に努めていきます。

最後に、災害に関する取組として、昨年度に引き続き石川県穴水町と珠洲市へ職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援を行い、2月には能登半島復興応援物産展を開催し、被災地復興の一助となることが出来ました。今後も災害を見据え、近隣社協や関係団体等と連携し、資機材の整備や関連マニュアルの改正を含む平時の備えを充足させていきます。

I 総務企画部門

《総務係》

1. 法人運営

(1) 住民主体による経営と実践

①理事会【全5回】次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

回 数	期日	出席 理事 / 監事	議 案
第 172 回	R6.5.30	9/2	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告及び決算報告の承認について ・理事候補者の選出について ・評議員選任候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員の選任について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・令和6年度第1次補正予算（案）について ・定款変更について ・デイサービスセンター土地・建物の譲与、及び基本財産の処分について ・諸規程の改正について ・評議員会の開催について ・令和6年度資金運用計画について ・第4回社会福祉大会の開催について
第 173 回	R6.7.31	10/2	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問の委嘱について ・第4回うきは市社会福祉大会における被表彰者の選定について ・諸規程の改正について ・令和6年度金婚祝福の会について
第 174 回	R6.9.10	10/2	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度正規職員採用について ・令和6年度共同募金運動について
第 175 回	R6.12.12	10/2	<ul style="list-style-type: none"> ・歳末たすけあい事業について ・諸規程の改正について ・ワークサポート白鳥の家の就労移行支援事業廃止及び次年度の運営について
第 176 回	R7.3.19	10/2	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第2次補正予算（案）について ・定款変更について ・諸規程等の廃止及び制定並びに改正について ・令和7年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について ・第三者委員の選任について ・評議員会の開催について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

②評議員会【全2回】次の日程・内容にて、評議員会を開催しました。

回 数	期日	出席者 出席 / 総数	議 案
第 64 回	R6.6.24	18/24	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告及び決算報告について ・理事の選任について ・令和6年度第1次補正予算（案）について ・定款変更について ・デイサービスセンター土地・建物の譲与、及び基本財産の処分について
第 65 回	R7.3.28	19/24	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第2次補正予算（案）について ・定款変更について ・令和7年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

③監査【全４回】次の日程・内容にて監査を実施しました。

回 数	期 日	出席者 出席 / 総数	監 査 事 項
第 1 回	R6.5.20	2/2	・令和 5 年度決算監査
第 2 回	R6.7.22	2/2	・令和 6 年度第 1 期監査（４～６月）
第 3 回	R6.10.23	2/2	・令和 6 年度第 2 期監査（７～９月）
第 4 回	R7.1.21	2/2	・令和 6 年度第 3 期監査（10～12 月）
第 5 回	R7.3.18	2/2	・令和 6 年度第 4 期監査（1～2 月）

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

④会長・副会長会【全５回】次の日程・内容にて、会長・副会長会を開催しました。

回 数	期 日	出席者 出席 / 総数	主 な 議 題
第 1 回	R6.5.22	3/3	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度事業報告・決算報告について ・次期役員、評議員について ・令和 6 年度第 1 次補正予算（案）について ・デイサービスセンター土地・建物の譲渡、及び基本財産の処分について ・令和 6 年度資金運用計画について ・第 4 回うきは市社会福祉大会の開催について ・理事会提案事項について ・今後のスケジュールについて
第 2 回	R6.7.24	3/3	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問の委嘱について ・第 4 回うきは市社会福祉大会における被表彰者の選定について ・諸規程の改正について ・令和 6 年度金婚祝福の会について ・理事会提案事項について
第 3 回	R6.9.3	3/3	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度正規職員採用について ・令和 6 年度共同募金運動について ・理事会提案事項について
第 4 回	R6.12.5	3/3	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度共同募金運動について ・歳末たすけあい事業について ・諸規程の改正について ・ワークサポート白鳥の家の就労移行支援事業廃止及び次年度の運営について ・理事会提案事項について
第 5 回	R7.3.14	3/3	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度第 2 次補正予算（案）について ・定款変更について ・諸規程の廃止及び制定並びに改正について ・令和 7 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について ・第三者委員の選任について ・理事会提案・報告事項について ・令和 7 年度区長業務説明会、任期満了に伴う役員選考状況について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

⑤評議員選任・解任委員会【全 1 回】次の日程・内容にて評議員選任・解任委員会を開催しました。

回 数	期 日	出席者 出席 / 総数	内 容
第 1 回	R6.6.6	5/5	・選出母体の役員変更に伴う新たな評議員の選任について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

⑥新任役員・評議員の研修の実施

期 日	参加人数	内 容
R6.7.5	3 名	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局説明（社協の組織、運営、各課の業務内容） ・各事業所の見学

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

(2) 法人の健全経営

- ①社会福祉法その他関係法令、内部諸規程に則った適切な経営
 - ・社会福祉法及び関係法令・通知の改正に伴う諸規程の改正
- ②顧問税理士の助言及び社会福祉協議会モデル経理規程に則った適切な財務・会計事務
 - ・消費税及び法人税納付関連事務
- ③顧問社会保険労務士の助言による適切な労務管理
 - ・働き方改革に沿った労務管理改善の実施
- ④職員安全衛生推進委員会による働きやすい職場環境づくり
 - ・安全衛生推進委員会の開催（3月）
 - ・「こころと体の相談」の実施（毎月）※面談及び電話相談にて実施。
 - ・健康診断要再検診者への受診指導
- ⑤監事による定期監査
 - ・事業計画に基づく経営状況の確認
 - ・職員時間外労働、有給休暇取得の確認
- ⑥第三者委員による苦情相談会開催（奇数月）

(3) 財政基盤の強化

- ①社協会員の拡大…地域や関係団体への説明の機会を設け、会員加入促進を図りました。

ア. 住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹 川	116/143	81.1%	58,000 円	86 口	43,000 円	101,000 円
新 川	78/102	76.5%	38,800 円	42 口	21,000 円	59,800 円
田 籠	40/50	80.0%	20,000 円	29 口	14,500 円	34,500 円
小 塩	142/202	70.3%	70,990 円	44 口	22,000 円	92,990 円
山 春	650/862	75.4%	325,000 円	411 口	205,500 円	530,500 円
大 石	566/922	61.4%	283,000 円	357 口	178,500 円	461,500 円
御 幸	1,541/2,385	64.6%	767,650 円	647 口	323,509 円	1,091,159 円
千 年	751/1,601	46.9%	357,500 円	123 口	61,500 円	419,000 円
吉 井	1,084/1,733	62.6%	542,000 円	111 口	55,500 円	597,500 円
福 富	934/1,389	67.2%	447,850 円	151 口	74,900 円	522,750 円
江 南	741/1,079	68.7%	359,000 円	60 口	30,000 円	389,000 円
市 外				26 口	13,000 円	13,000 円
合 計	6,643/10,468	63.5%	3,269,790 円	2,087 口	1,042,909 円	4,312,699 円

※住民会費は一世帯 500 円、賛助会費は 1 口 500 円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

※総世帯数は、区長文書配布数となっています。

イ. 団体会員（1 団体 年会費 5,000 円）

社会福祉法人両筑福祉会（浮羽学園）
 社会福祉法人浮羽コロニー（希望が丘）
 社会福祉法人図南会（えびね荘）
 社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）
 社会福祉法人ふたば会（水月吉井、養護老人ホームうきは）
 社会福祉法人幸輪福祉会（エバーガーデンうきは）
 社会福祉法人幸輪会（うきは幸輪保育園、わかば幸輪保育園）
 特定非営利活動法人みつば会（浮羽共同作業所）
 絆データシステム株式会社
 食彩倶楽部 純正
 合計 10 団体 50,000 円

(4) 職員育成と職員体制の充実

①研修計画に基づいた職員育成研修の実施

- ・職員全体研修（令和6年4月22日）
内 容：「令和6年度の各部門の重点事項を知ろう」
参加者：44名
- ・役職員全体研修（令和6年11月21日）
内 容：「能登半島地震災害ボランティアセンターの運営支援報告」
参加者：48名
- ・両筑地区社会福祉協議会連絡会 職員全体研修（令和6年12月14日）
内 容：・「カスタマーハラスメントについて」
・「能登半島地震に伴う珠洲市災害ボランティアセンター運営支援報告」
参加者：29名
- ・人権研修 ※各部署ごとに実施
内 容：DVD 視聴（参加者：51名）
「企業活動に人権的視点を」 参加者：14名
「言葉があるから 無自覚の差別「マイクロアグレッション」」 参加者：17名
「インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために」 参加者：8名
「コール&レスポンス ハラスメント」 参加者：5名
「秋桜の咲く日」参加者：7名
- ・動画視聴による研修※各部署ごとに実施
 - ・虐待防止 参加者：41名
 - ・感染症予防 参加者：28名
 - ・食中毒予防 参加者：43名

②人材確保を目的とする職員処遇改善

- ・職員給与及び退職手当に関する規程改正
- ・育児・介護休業法改正に伴う規則の改正

③職員の福祉資格取得促進

- ・資格取得及び更新研修費用の助成 2件

④専門職員配置の充実

- ・令和6年度有資格者嘱託職員の採用 2名

2. 各部門の総合調整、活動支援

(1) 管理職会議（月1回）

毎月1回定例にて会長以下、事務局長、課長、課長補佐、係長、管理者を招集し開催。管理職会議において事業の進捗状況、連絡調整事項等について協議しました。

3. 福祉給食

(1) 「食」の自立支援事業（市受託事業）

利用者の年間延べ人数は、1,008人（前年度比-119名）、延べ配食数は28,517食（前年度比-3,978食）となり、当初の配食計画数（44,000食）を、大幅に下回りました。配食数減少の要因として、新規利用者42名はあるものの、死亡や入所・入院が増え、退院後在宅復帰されない方が多くなりました。また、事業の目的に添って、食の確保に加え、安否確認を必要とする一人暮らし高齢者等で、買い物に行くことができない方に対象者を制限し、事業を進めたことにあります。あわせて、民間の宅配サービスの利用増加も背景に見られました。

しかしながら、本事業利用により、栄養面から健康状態が回復されて、買い物に行けるようになった方、調理が出来るようになった方もおられて、在宅生活での自立支援につながっています。

献立については、栄養士が地産地消を基本に季節感を味わって頂く工夫や栄養管理を行いました。

安否確認については、配食時に不在等で安否の確認ができなかった方には、不在連絡用紙を添え、帰宅したら電話を頂くようにし、連絡がない場合は、本人及び親族あるいはケアマネジャーなどの関係者へ連絡を取るなどして、確認の徹底を図っています。今年度においても、配食時に体調不良に気付く家族や関係機関に連絡し救急搬送したケースや、自宅で倒れているところを配食時に発見し救急車の手配をしたケース等がありました。このように、安否確認においては、平素より関係機関と連絡相談等を密に行い、食の面から利用者が健康で安心した生活を送れるように努めてきました。

- 配食日：月曜日～土曜日（但し、8／14・15、12／30～1／3を除く）昼食と夕食
 □利用者負担：1食 400 円（但し、生活保護受給者 1 食 300 円）
 □活動体制：調理 給食員 3.5～4 名
 献立 栄養士
 配食 給食員とボランティア（30 名登録、R 7.3 月末現在）
 □配食コース：昼食 4 コース（内、ボランティア 月～土 3 名）
 夕食 6 コース（内、ボランティア 月～土 4 名）

【食の自立支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	87	89	91	86	85	82	87	86	81	78	77	79	1,008
実施日数	26	27	25	27	24	25	27	26	24	24	24	26	305
配食数	昼食	837	878	807	905	764	766	879	818	733	714	687	9,501
	夕食	1,694	1,699	1,557	1,756	1,521	1,571	1,764	1,722	1,472	1,394	1,384	19,016
	合計	2,531	2,577	2,364	2,661	2,285	2,337	2,643	2,540	2,205	2,108	2,071	28,517

【利用者区分 (R7.3 月末現在)】

区 分	一人暮らし高齢者	高齢者夫婦	障がい者	その他	合 計
利用者数	78 名	6 名	2 名	1 名	87 名

【配食時の安否確認件数】

年 度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
安否確認件数	854 件	804 件	646 件	874 件	762 件	633 件
(内緊急対応件数)	6 件	7 件	4 件	6 件	4 件	2 件

※総数にはあったか宅配サービス利用者を含む。

(2) あったか宅配サービス（共同募金配分金事業）

利用者や市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが中止となった方や、申込みをしたが該当しなかった方で、本会が食の確保が必要と認められた方に、健康で自立した生活を送ることができるよう、配食を通して支援しました。

□利用者負担／1 食 500 円

【あったか宅配サービス実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	5	5	5	6	5	6	7	5	5	6	6	6	67
配食数	134	138	129	152	124	144	186	133	123	160	162	172	1,757

※実利用者数 9 名

4. 管理・経営（指定管理）

(1) うきは市総合福祉センター

うきは市総合福祉センターが施設の目的に従って利用促進が図られるように努めました。

【うきは市総合福祉センター利用実績】

開館日数		一般用貸出室				その他の 部屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	293 日	293 団体	4,997 人	35 団体	454 人	4,193 人	9,644 人
月平均	24.4 日	24.4 団体	416.4 人	2.9 団体	37.8 人	349.4 人	803.7 人
1 日平均	—	1.0 団体	17.1 人	0.1 団体	1.5 人	14.3 人	32.9 人

5. 福祉用具の無料貸出（地域福祉部門との協働）

（1）福祉用具無料貸出

①福祉用具無料貸出

在宅生活に介護・介助を要する方を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。

【福祉用具の貸出状況】

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	103 件	杖	6 件	介護ベッド	5 件
シャワーチェア	5 件	ポータブルトイレ	8 件	押し車	11 件
手すり	1 件	踏み台	1 件	合 計	140 件

②老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施

うきは市老人クラブ連合会の協力により、毎月当番を決め福祉用具の点検を実施いただいています。これにより、福祉用具を安心してご利用いただけます。

【老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施状況】

点検実施会場	点検回数	協力延人数
うきは市総合福祉センター	3 回	4 人
うきは市民センター	2 回	4 人
合 計	5 回	8 人

③社会参加促進交流事業

高齢者や障がいのある方々が安心・安全に活用できるように、車椅子等福祉用具の購入及び修理に必要な物品を購入しました。

6. 公益事業（葬祭事業）

誰も訪れる死に対し、華やかな飾り付けや出費をあおらず、荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるようにサービスの充実に努めました。また、広報や終活セミナー等を通して、社協の葬祭事業について市民への周知を図りました。

（1）自宅、集会所、寺院、斎場での葬儀の実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅・寺院葬	1	1	0	0	0	3	1	1	2	0	2	0	11
斎場葬	本館	8	10	6	3	8	5	8	9	6	4	1	75
	和室	1	0	1	1	0	1	1	1	2	1	4	13
	別館	8	4	10	4	8	5	6	10	8	9	7	87
	小計	17	14	17	8	16	11	15	20	16	14	12	175
直 葬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	18	15	17	8	16	14	16	21	18	14	14	15	186
(内市外者)	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
市内死亡者数	31	38	40	21	34	43	34	38	33	44	31	36	423
市内利用率	58.1%	39.5%	40.0%	38.1%	47.1%	32.6%	47.1%	52.6%	54.5%	31.8%	41.9%	41.7%	43.3%

①斎場葬の実施に伴うサービス提供

- ・無料送迎バスの実施・・・55 件（利用率 31.4%）
- ・無料朝食提供の実施・・・44 件（利用率 25.1%）

（2）葬祭事業運営委員会【全2回】

期 日	会 場	出席者	議 題
R6.7.3	うきは斎場本館おとき室	委員 7 名	・斎場折込チラシについて ・縁デイングノートの活用及び終活セミナーについて
R7.2.6	うきは斎場本館おとき室	委員 9 名	・縁デイングノートの活用及び終活セミナーについて ・令和7年度葬祭事業への意見・提言

・委員会の提言事項

- ①故人の想いと遺族に寄り添う福祉葬儀の充実を図り、利用者に優しい葬儀をお願いしたい。
- ②「縁ディングノート」の活用、終活セミナーの開催について、充分周知を行ったうえで取り組んでいくことをお願いしたい。
- ③一層の吉井町域住民への周知と啓発をお願いしたい。
- ④施設の老朽化に伴う施設整備を計画的に適時行うことをお願いしたい。

(3) 葬祭事業の周知

- ①広報誌「ふくしかわら版」へのチラシの折り込み。2回（9月号、12月号）
- ②ホームページ内に福祉葬儀の専用サイトを開設。

(4) 終活セミナーの開催

期 日	会 場	参加者	内 容
R6.11.27	うきは市総合福祉センター	16 名	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい終活とは ・縁ディングノートの説明及び配布 ・終活写真撮影

※感染予防を含めた衛生管理の実施

斎場内に次亜塩素酸空間除菌脱臭機の設置、手指消毒などの対策に努めました。

7. 豪雨・地震等災害支援

令和6年1月1日に発生した能登半島沖を震源地とする能登半島地震において、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議及び福岡県社会福祉協議会からの要請により、災害ボランティアセンター運営支援を行うため、職員を派遣しました。

(1) 能登半島沖地震への支援

- ①派 遣 先：石川県鳳珠郡穴水町（穴水町災害ボランティアセンター）
派遣期間：令和6年4月19日～4月24日（6日間）
派遣職員：総務企画課 中川
- ②派 遣 先：石川県鳳珠郡穴水町（穴水町災害ボランティアセンター）
派遣期間：令和6年4月24日～4月29日（6日間）
派遣職員：在宅福祉課 國武
- ③派 遣 先：石川県珠洲市（珠洲市災害ボランティアセンター）
派遣期間：令和6年6月23日～6月29日（7日間）
派遣職員：地域福祉課 井上 ※九州ブロック派遣

(2) 能登復興応援物産展開催

令和6年1月の地震、9月の大雨で大きな被害を受けた能登半島の復興支援として、物産展の開催と義援金活動を行いました。当初、3日間で計画していましたが、物産品が完売したため、最終日の物産展、義援金活動は実施していません。義援金については、2日間で284,656円の義援金が集まりました。なお、集まりました募金につきましては、石川県共同募金会へ全額を送金させていただき、石川県共同募金会を通じて被災された方への義援金として配分されます。

期 日：令和7年2月22日（土）～23日（日）

場 所：道の駅うきは インフォメーション室

参加者：2/22 29名

2/23 22名 計51名

《企画調整係》

1. 調査・企画・広報事業

行政や関係機関より福祉に関する統計情報（データ）を収集し、うきは市の福祉の全体像を把握すると共に、福祉座談会や「ふくしかわら版」等を活用して福祉課題を拾い上げました。

また、広報やホームページなど様々な媒体により地域福祉の情報を発信し、啓発活動を行い、社協の見える化を推進しました。

(1) 「ふくしのかかわら版」を活用した福祉課題の把握

市民からの声を拾い上げるために、ふくしのかかわら版（11月号、3月号）を活用し、郵送形式による福祉課題の把握を行い、2通の返送を頂きました。

また、ホームページにもお問い合わせのページを設け、3通のお問い合わせを頂きました。

なお、送付いただいた内容については、事務局での検討や対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員等と連絡を取り、状況確認と支援を行いました。

(2) 年次調査統計要覧の作成

うきは市の人口や世帯の増減、高齢率・年少率等の福祉活動の参考データを算出するために、市福祉事務所福祉係を介して情報政策係に情報提供を依頼し、うきは市の基本データの集積を行うと共に、久留米児童相談所やハローワーク等の関係機関に対しても福祉に係る調査結果等の情報を提供いただき、政府機関が公表しているデータと合わせて「年次統計要覧」を作成しました。

(3) 社協だより「ふくしのかかわら版」の編集発行 年12回（共同募金配分金事業）

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の福祉意識の啓発に関する事などを、うきは市民にお伝えするために、毎月1日に「ふくしのかかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

(4) ホームページの管理・運営 毎月1日に定例更新（共同募金配分金事業）

社協の見える化を推進するため、スマートフォンやタブレットに対応できるように環境を整えました。定期広報誌については発行に併せて毎月1日に更新しました。なお、ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など最新の情報を掲載しました。

(5) フェイスブック・X（旧ツイッター）の管理・運営

フェイスブック・X（旧ツイッター）を通して、地域福祉の情報提供や啓発活動を行い、社協活動の見える化を推進しました。（フォロワー数／フェイスブック1227、X（旧ツイッター）804）

(6) 防災無線（行政放送）の活用

社協の相談窓口等をお知らせするために、市役所防災無線を活用させて頂きました。

(7) 住民啓発資材（社協名入り花の種、各種パンフレット等）

社協の連絡先や相談窓口を啓発するための資材として、花の種、ボールペン、クリアファイルなどを作成配布しました。

2. 介護予防・生活支援体制整備事業（市受託事業）（地域福祉部門との協働）

(1) 市・社協連絡調整会議実施状況

事業推進にあたり、うきは市役所保健課介護・高齢者支援係と定例協議を行うと共に、就労的活動支援や企業との連携も視野に、うきは市役所保健課介護・高齢者支援係、うきはブランド推進課商工振興係と現在の課題や今後の事業推進に向けた情報共有及び協議を行いました。

また、包括連携協定を結んでいるさわやか福祉財団とも必要に応じて打合せを行い、県内及び全国的な事業の情勢を含めたアドバイスをいただきました。今後も市の関係部署と連携を密に取りながら、事業推進を行っていきます。

(2) 企業・関係機関との連絡調整

事業推進にあたり企業等と連携し、高齢者の幅広い生活支援を検討する機会が増えており、今年度も市内移動販売業者との連携協定会議へ参加し、現状や課題について共有を図りました。今後も企業等と連携を深め、地域包括ケアシステムへ多様な主体が参画できるよう、調整及び働きかけを行っていきます。

(3) 第1層協議の場の開催状況

第2層協議の場及び各地区での取り組みの情報共有や課題提起等を目的に、うきは市主催による第1層協議の場を開催しておりますが、今年度の開催はありませんでした。

(4) 第2層圏域への支援（協議の場・第2層地域支援推進員・各種活動への支援）

福富地区については、令和6年9月に「日頃のつながりと災害」を協議内容とした協議の場が開催され、千年地区については、令和6年10月から協議の場づくりのための勉強会（全4回）が始まり、令和7年2月から協議の場へと移行、「居場所」をテーマに協議を重ねています。

また、第2層地域支援推進員が配置されている、江南地区、御幸地区、妹川地区、山春地区については、各地区推進員との協議・打合せ等を重ね活動支援を行いました。なお、協議の場および第2層地域支援推進員未設置の地区についても自治協議会をはじめ地域の関係者と打ち合わせを重ね、地域の状況に応じて活動等を実施することができるよう支援を行いました。

【第2層地域支援推進員が配置されている地区の取り組み（一部抜粋）】

江南地区	訪問型サービスD「江南一九の会」（移動支援） 通所型サービスB「なないろ」
御幸地区	通所型サービスB「にここサロン」 「いきいきサロン」 みゆきカフェ28 御幸地区生活支援クラブ
妹川地区	訪問型サービスD「わくわくいもがわ号」（移動支援）
福富地区	通所型サービスB「健康サークル ほっこり」 見守りベンチ作り DIG 訓練（災害図上訓練） 防災フィールドワーク
山春地区	山春しあわせ会 ウォーキングイベントの開催

(5) 地域資源の開発

地域資源の開発として立ち上げ支援を行った市内生活支援グループ「おいしい絆クラブ」及び「14区おたすけ隊」に関して、会の活動がスムーズに行えるよう、役員会等へ参加し助言・活動支援等を行いました。また、御幸地区における生活支援グループについても、活動や会の運営に関する支援や提案等を行いました。

移動支援については、「わくわくいもがわ号」（妹川地区）及び「江南一九の会」（江南地区）の2つの取り組みに対して、運営委員会や情報共有連絡会に参加し助言・活動支援等を行いました。

地域の居場所活動については、大石コミュニティセンターにて月2回実施していたつどいの場について、回数増を希望する参加者の声があるとの相談を受け、回数増に向けた準備に関して関係者と協議を実施するなど、支援にあたりました。令和6年5月からは、つどいの場の開催回数が月2回から週1回へと回数増となり、参加者も年度当初から2倍となる結果となりました。

また、これまで御幸地区地域支援推進員が中心となり実施していたみゆきカフェ28について、活動開始から数年が経過し、安定的な活動が行える状況となったことなどを踏まえ、関係者と協議の上、活動に対する協力者での独立運営とすることが決まり、独立後のスムーズな運営が出来るよう、現状の活動内容の整理や規約等の整備に関する支援を行いました。

(6) 地域支援事業に関連する会議等への参加について

うきは市が主催する「地域ケア会議」に参加し、高齢者の実態把握や自立支援に向けた個別事例の検討、地域に共通した地域課題や地域に必要な資源の把握等を行いました。また、認知症総合支援事業に関連して、キャラバンメイト連絡会や認知症基本法施行にかかる意見交換会等へ参加し、本事業にかかる情報提供や協議を行いました。

3. 地域公益活動についての研究・実施（地域福祉部門・在宅福祉部門との協働）

地域福祉活動や在宅福祉事業など、様々な社協の取り組みの中から見えてくる新たなニーズや、既存の制度では解決できない課題を解決するため、福岡県内の社会福祉法人が連携して、支援を必要とする方に対する相談支援活動である「ふくおかライフレスキュー事業」に参加しました。

ふくおかライフレスキュー事業とは、関係機関との連携を図り、相談活動を進めていく中で、支援を必要とする方の心理的不安の軽減を図るとともに、必要な制度やサービスにつなぐものです。また、生活保護等の既存制度では即応できない方で、経済的困窮により生活必需品や社会的サービスの利用が阻害されている方がいる場合、その費用等を現物により支援する事もできます。

今年度は、対応件数はありませんでした。

4. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働

平成 26 年 11 月 14 日に、うきは市内の社会福祉法人の代表者が集まり、地域公益活動の研究・意見交換を行い、その結果、地域福祉の増進に寄与することを目的に、市内 7 法人で「うきは市社会福祉法人連絡協議会」を発足しました。今年度も、うきは市内の全社会福祉法人 9 法人が協働で社会貢献活動に取り組みました。

【うきは市社会福祉法人連絡協議会参加法人】

図南会（えびね荘）、ふたば会（水月吉井・養護老人ホームうきは）、浮羽コロニー（希望が丘）、
両筑福祉会（浮羽学園）、遊林福祉会（遊林愛児園）、幸輪会（うきは幸輪保育園・わかば幸輪保育園）、
幸輪福祉会（エバーガーデンうきは）、ひじり会（ひじり園うきは・にじの家）、うきは市社会福祉協議会

（1）代表者会、社会貢献プロジェクト委員会の実施

【うきは市社会福祉法人連絡協議会代表者会】

期 日	会 場	内 容
R6.6.19	うきは市総合福祉センター	①令和 5 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会 事業報告 ②令和 5 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会 決算報告、監査報告 ③令和 6 年 4 月～5 月活動報告
R6.12.3	うきは市総合福祉センター	①令和 6 年度 4 月～11 月活動報告について ②フードドライブ・フードパントリーについて
R7.3.7	うきは市総合福祉センター	①令和 6 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会の活動経過について ②令和 7 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会事業計画・予算（案）について ③令和 7 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会役員について

【社会貢献プロジェクト委員会】

期 日	会 場	内 容
R6.4.12	うきは市総合福祉センター	①社会貢献プロジェクト委員の交替について ②社会貢献プロジェクト委員会について ③令和 5 年度事業報告（案）について（意見交換） ④令和 6 年度年度事業計画、地域貢献活動の取り組みについて ⑤小委員会について
R6.10.25	うきは市総合福祉センター	①令和 6 年 4 月～9 月活動報告について ②各小委員会より
R7.2.14	うきは市総合福祉センター	①令和 6 年度の取り組みについて ②各小委員会より ③令和 7 年度の活動について

【社会貢献プロジェクト委員会小委員会】

①景観美化活動小委員会

期 日	会 場	内 容
R6.4.12	うきは市総合福祉センター	景観美化活動の実施について
R6.10.25	うきは市総合福祉センター	景観美化活動の実施について
R7.2.14	うきは市総合福祉センター	来年度の活動について

②障がい者の休日、放課後等の居場所づくり小委員会

※活動の中止に伴い、会議も中止となりました。

③研修小委員会

期 日	会 場	内 容
R6.4.12	うきは市総合福祉センター	社会福祉法人連絡協議会職員研修会について
R6.10.25	うきは市総合福祉センター	社会福祉法人連絡協議会職員研修会について
R7.2.14	うきは市総合福祉センター	来年度の活動について

④フードパントリー小委員会

期 日	会 場	内 容
R6.4.12	うきは市総合福祉センター	フードドライブ・フードパントリー活動の実施について
R6.6.5	うきは市総合福祉センター	フードドライブ・フードパントリー活動の実施について
R6.9.25	うきは市総合福祉センター	フードドライブ・フードパントリー活動の実施について
R6.10.25	うきは市総合福祉センター	フードドライブ・フードパントリー活動の実施について
R7.2.14	うきは市総合福祉センター	来年度の活動について

(2) うきは市社会福祉法人連絡協議会研修会等の協働実施

うきは市社会福祉法人連絡協議会 研修会

本研修会では、社会福祉法人が地域における取り組みの重要性や社会福祉法人が連携することで専門性を生かし複合的な課題に取り組むことなど活動の強みを講演いただき、私達が活動する意義を再確認することのできる研修会となりました。

期 日	会 場	参加者	内容
R7.1.24	うきは市総合福祉センター 2階 大会議室	38名	「社会福祉法人が地域貢献を行う意義」 講師：福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 部長 勝野 耕太郎 氏

(3) 地域公益活動等の社会貢献活動の取り組み

社会貢献プロジェクト委員会等で検討しながら、地域公益活動等の取組みを以下のとおり行いました。

①相談体制の充実について

社会福祉法人連絡協議会の各法人で相談支援窓口を設置し、各法人連携しながら相談支援体制を強化するもので、各法人の相談担当者、相談分野一覧表を見直し、各法人の相談員が相談連携に活用しました。また、広報誌や福祉委員委嘱状交付式等の際に、連絡会の取り組みを市民に周知しました。

②生活困窮者への物品等の提供について

うきは市社会福祉法人連絡協議会 フードドライブ・フードパントリー「Mochiyori」

フードパントリー小委員会を開催し、今年度も新型コロナウイルスや物価高騰等で生活に苦慮されている方へ食品等の提供を行いました。

【第1回】

- ・物品受付期間（各法人他）令和6年8月19（月）～8月31日（土）
- ・物品仕分け作業 令和6年9月4日（水）うきは市総合福祉センター2階大会議室 参加者：16名
- ・申込者への配布 申込期間：令和6年8月19日（月）～8月31日（土）
配布期間：令和6年9月9日（月）～9月14日（火）
配布実績：33世帯128名 ※参考 R5 実績 35世帯129名

【第2回】

- ・物品受付期間（各法人他）令和7年1月14（火）～1月31日（金）
- ・物品仕分け作業 令和7年2月5日（水）うきは市総合福祉センター2階大会議室 参加者：11名
- ・申込者への配布 申込期間：令和7年1月14日（火）～1月24日（金）
配布期間：令和7年2月10日（月）、2月12日（水）
配布実績：30世帯117名

③景観美化活動について

「クリーン大作戦！うきは!!」として、今年度は5月にJR筑後吉井駅の清掃活動を、11月には市内のJR各駅へプランターの寄贈を行いました。清掃活動では、施設利用者の方も他の施設の方や職員とともに、駅前の草取り、植木の伐採などに取り組むことができました。また、清掃活動終了後は、御幸コミュニティセンター調理室にて参加者同士の交流会を行い、参加した方からも大変喜んでいただきました。

プランターの寄贈にあたっては、遊林愛児園・うきは幸輪保育園・わかば幸輪保育園の園児の皆さんにプランターに貼付する絵を描いていただき、花植えについては、えびね荘・浮羽学園・白鳥の家（社会福祉協議会）の職員および利用者にご協力いただきました。

期 日	会 場	参加者	内 容
R6.5.2	JR 筑後吉井駅周辺	施設利用者 14 名 職員 30 名 合計 44 名	・ JR 筑後吉井駅の清掃活動 ・ 御幸コミュニティセンターでの交流会
R6.11.27	市内 JR 各駅	—	プランターの寄贈

④わくわく福祉出前講座（高齢者等の居場所作りの支援）について

保育、児童、障がい、高齢等の各分野で培った知識と人材を活用し、地域公益活動の取り組みとして、地域福祉の増進を目的に「わくわく福祉出前講座」を開催しております。今年度は、地域からの依頼により、よりあいなどの地域の居場所活動等で出前講座を行いました。

期 日	開催団体・場所	協賛法人	内 容
R6.5.15	若宮区よりあい	ふたば会（水月吉井）	介護のことは何でもご相談ください！

⑤障がい者の休日、放課後等の居場所づくりについて

施設利用者から、「平日は施設に行くのでいいが、休日は家でじっとしていることが多い。友達と遊ぶことも時にはあるが、休日に楽しく過ごせる場所が欲しい。」という声から、障がい者の居場所づくりプロジェクトとして、レクリエーション活動やバスハイク等を例年実施していますが、今年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止しました。

⑥地域行事等への参加

各法人と自治協議会等のつながり作りとして、地域行事に各社会福祉法人から積極的に参加することとしていましたが、今年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加を中止しました。

⑦ひきこもり等の職場体験の受け入れについて

ひきこもり等の職場体験の受け入れについて、各法人が受け入れ出来ることをリスト化しました。なお、今年度は受入調整はありませんでした。

⑧情報提供の充実について

各社会福祉法人の紹介や相談窓口の広報、協働での地域における公益的な取り組みを紹介するため、社協ホームページ内に、社会福祉法人連絡協議会ページを作成して周知を図りました。

⑨個人宅一斉清掃活動について

地域から相談があった個別課題への対応として、個人宅一斉清掃活動等を 1 事例行いました。

対象者	相談経路	期 日	参加者
60 代 一人暮らし男性	福祉サービス利用者	R6.6.25	10 名

⑩能登豪雨への支援

・災害義援金にかかる街頭募金

市内のスーパーにご協力いただき、下記のとおり街頭募金を実施しました。当日はたくさんの方に募金協力をいただき、合計 87,893 円の義援金が集まりました。なお、集まりました募金につきましては、石川県共同募金会へ全額を送金させていただき、石川県共同募金会を通じて被災された方への義援金として配分されます。

期 日：令和 6 年 10 月 17 日（金）17 時 30 分～18 時

場 所：市内スーパー 4 か所

参加者：市内社会福祉法人職員計 48 名

5. 第4回うきは市社会福祉大会の開催

9月15日（日）に、「声・手・心 つないで人の輪 地域の和」をテーマに、第4回社会福祉大会をるり色ふるさと館にて開催しました。この大会は5年に1度開催する大会ですが、第3回大会については新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、10年ぶりの開催となりました。社会福祉の向上に功績があった方・団体に感謝の意を表するとともに、地域のつながりや支え合いを基盤とした「地域共生社会」の実現に向け、地域福祉活動を推進することを地域の皆さんに広く発信することが出来ました。

【第4回うきは市社会福祉大会】

- ・オープニング 白壁レディース 21 によるダンス「うきは CityDays」
- ・式典 社会福祉功労者顕彰（個人：42名、団体：12団体）
- ・記念講演 「災害に打ち勝つ地域の力」～災害に備える平常時からの地域づくり～
講師：李 仁鉄 氏（特定非営利法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長）
- ・エンディング 吉井中学校・浮羽中学校合同吹奏楽部による演奏

【催しコーナー】

- ・フードバンク事業 うきうきフードバンク「うきたべる」
- ・バザーコーナー（市内社会福祉施設・事業所による雑貨等手作り商品等の販売）
参加事業所：ルッコラ、スキルアッププロ、パブリカ、ごろりん、かぶとむしクラブ、ワークサポート白鳥の家
- ・展示・体験コーナー（過去の災害パネル展示、DVD 上映、災害時の対応や備えについての体験）
- ・屋外体験コーナー（水消火器体験、煙避難体験、消防車両展示、消防服着用体験）

II 地域福祉部門

《地域係》

1. 委員会研究事業

国の推進する地域共生社会の実現に向けた取り組みに合わせ、必要に応じ特別委員会の中で専門的に研究協議を行うこととしていましたが、今年度の開催はありませんでした。

2. 連絡調整事業

（1）連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項
地区自治協議会（福祉部門）	自治協議会（福祉部門）連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政（福祉事務所福祉係）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
行政（保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、生活支援体制整備事業他
行政（福祉事務所保護係）	行政・社協事務連絡調整会議	生活困窮者自立支援事業
行政（福祉事務所こども支援係）	行政・社協事務連絡調整会議	子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業
行政（消防防災係）	行政・社協事務連絡調整会議	うきは市災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書の内容確認他
両筑管内社協（6市町村社協）	両筑地区社協連絡会	事業内容情報交換、課題解決他

（2）委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者（担当所管）
要保護児童対策地域協議会代表者会・実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	保健課介護・高齢者支援係
うきは市自殺対策プロジェクト委員会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係
「在宅医療介護連携センター事業」協議会・運営委員会	地域における在宅医療提供体制の検討	浮羽医師会

委員会、会議等名称	主な内容	設置者（担当所管）
地域ケア会議	個別ケース検討、ネットワーク構築 地域課題の把握	保健課介護・高齢者支援係
うきは市居住支援協議会	住宅確保要配慮者に対する情報提供 関係機関連携	保健課介護・高齢者支援係
うきは市地域障害者協議会	地域の障害福祉に関するシステムづくりに についての協議	福祉事務所福祉係
うきは市子育てネットワーク会議	小・中学校相談事例検討	うきは市教育センター
うきは市男女共同参画審議会	男女共同参画施策の実施状況の検討	男女共同参画推進室
不登校・引きこもり対策相談支援事業サ ポート協議会	不登校・引きこもり対策相談支援事業 に関するサポート協議	福祉事務所福祉係

3. ふれあいのまちづくり推進事業（市補助事業）

（1）総合相談・援助

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談窓口を開設しました。

①心配ごと相談（常設相談）

相談開設：毎週水曜日 9:00 ～ 15:00 相談場所：第1・3週／吉井事務所 第2・4週／浮羽事務所

開設日数	46
相談者	15
相談経路	来所 9 電話 6
相談件数	23

【相談援助事項】

終了解決		1
相談継続		11
社協による援助実施		2
弁護士相談紹介		2
障害年金相談紹介		1
他機関・組織への紹介		6
内訳	民生委員児童委員	0
	福祉事務所	0
	その他行政機関	3
	その他民間組織	3

【相談援助事項の分類】

相談事項		件数	分 類	内数
暮らし・住まい	生計問題	5	ローン問題	1
			その他	4
	年金問題	1	親子関係	1
	職業・生業問題	1	家庭不和	1
家族	家庭問題	2	その他	2
	離婚問題	2	離婚相談	1
			親権者指定・変更	1
健康・医療	健康・衛生問題	1	健康増進	1
	医療問題	3	医療施設	2
			リハビリテーション医療保健	1
法律	財産問題	1	その他	1
福祉・教育	障害者（児）福祉問題	2	就労	1
			その他	1
その他	その他	5	分類に属さない問題	5
合 計				23

②弁護士無料法律相談（福岡県弁護士会 筑後部会との共催）

相談開設：年 12 回（毎月第 3 木曜日） 相談場所：偶数月／浮羽事務所、奇数月／吉井事務所

相談開設日数	12
相談来訪者	78
相談件数	82

【相談結果】

指導助言		80
扶助協会への紹介		0
弁護士紹介		2
内訳	相談担当者直受	0
	継続相談	2
	相談担当者以外	0

相談事項		件数	分類	内数
一般民事 関係	不動産関係	13	所有権	1
			登記	2
			賃借件	3
			家屋明渡	1
			建築工事	2
			相隣	3
			その他	1
	債権関係	10	貸金	4
			売買	3
			その他	3
	損害賠償	8	交通事故	1
			医療事故	2
			その他	5

相談事項		件数	分類	内数
一般民事 関係	その他	12	倒産破産	4
			保障関係	3
			労働関係	3
			その他	2
	家事関係	34	離婚	12
			離婚以外の夫婦関係	2
			相続	13
			親子	2
			その他	5
一般刑事		2	事件	2
特殊事件	3	サラ金	2	
		消費者	1	
合計				82

③司法書士相談（福岡県司法書士会 筑後支部との共催）

相談開設：年 12 回（毎月第 4 木曜日）

相談場所：偶数月／吉井事務所、奇数月／浮羽事務所

※社協は受付事務および部屋の貸出を実施

※ 1 月 23 日は相談予約が無く、開設中止。

相談開設日数	11	相談事項	件数
相談来訪者	32	不動産登記関連	17
相談件数	40	相続関連	12
		借金関連	0
相談結果		裁判関連	2
指導助言	40	成年後見関連	4
相談継続	0	会社登記関連	0
		その他	5
		合 計	40

④第三者委員苦情相談

相談開設：6 回

相談場所：浮羽事務所 5/7、9/3、1/7 実施
：吉井事務所 7/2、11/5、3/4 実施

	浮 羽	吉 井	合 計
相談開設	3	3	6
相談来訪者	0	0	0

⑤障害年金相談（福岡県社会保険労務士会 県南支部との共催）

相談開設：偶数月第 2 木曜日

相談場所：吉井事務所

相談開設日数	4
相談来訪者	10
相談件数	10

※ 4 月 11 日、8 月 8 日は相談予約が無く、開設中止。

⑥相談員研修

相談員の資質向上を図るため、次の研修会を実施しました。

期 日	会 場	参加者	研修内容
R6.4.17	総合福祉センター	8 名	・研修「相続登記の申請義務化について」 講師：福岡県司法書士会筑後支部 司法書士 富永 真博 氏
R6.9.18	総合福祉センター	9 名	・研修「消費者トラブル最前線！！ ～消費者トラブルの特徴と、見守りの極意～」 講師：特定非営利活動法人 消費者支援機構福岡 消費生活相談員 徳原 直美 氏

(2) 地域生活支援事業

①地区自治協議会（福祉部門）連絡会

各地区自治協議会（福祉部門）の連携や情報交換を行うため、自治協議会（福祉部門）連絡会を開催しました。

【地区自治協議会（福祉部門）連絡会 検討内容】

回	期 日	検討・情報交換項目
第 1 回	R6.6.18	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区自治協議会（福祉部門）令和 5 年度事業報告について ・各地区自治協議会（福祉部門）令和 6 年度事業計画について ・うきは市社会福祉協議会令和 6 年度地域福祉課事業計画の概要について ・福祉小座談会の開催状況及び推進について ・福祉会の設置状況及び推進について
第 2 回	R6.11.6	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区自治協議会（福祉部門）中間報告 ・歳末たすけあい活動について ・福祉小座談会の開催状況及び推進について

②福祉委員活動

ア．福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動に関わる内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするため、5月から毎月1日に「福祉委員かわら版」を発行し、福祉委員および区長、民生委員児童委員に配付しました。

イ．福祉委員委嘱状交付式

各地区自治協議会と共催で福祉委員委嘱状交付式を行い、令和 6 年度は 338 名の方に委嘱しました。

③よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成を行いました。

開催回数／ 209 回 開催区数／ 60 箇所

参加内訳：高齢者／ 2,306 名 世話人／ 774 名 その他／ 333 名 参加者計／ 3,413 名

※小塩地区については、旧行政区にて集計しています。

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります。

※コロナ禍以降、よりあい活動を再開する区が増え、高齢者の閉じこもり防止、安否確認、地域の方々のふれあいの場となることを目的に実施されています。社協にも福祉委員より、ゲーム等のレクリエーションの他、健康や暮らしに役立つ講話等の相談が増え、協力いただける企業やボランティアに依頼し、対応に努めました。

地 区	開催区	行政区	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川校区	2	5	252 名	97 名	21 名	370 名	23 回
新川地区	0	8	0 名	0 名	0 名	0 名	0 回
田籠地区	0	1	0 名	0 名	0 名	0 名	0 回
小塩校区	0	13	0 名	0 名	0 名	0 名	0 回
山春校区	4	17	121 名	47 名	37 名	205 名	14 回
大石校区	16	18	309 名	145 名	46 名	500 名	25 回
御幸校区	11	28	374 名	130 名	75 名	579 名	25 回
千年校区	9	20	535 名	152 名	79 名	766 名	53 回
福富校区	8	15	222 名	50 名	16 名	288 名	17 回
吉井校区	2	23	43 名	20 名	4 名	67 名	6 回
江南校区	8	19	450 名	133 名	55 名	638 名	46 回
計	60	167	2,306 名	774 名	333 名	3,413 名	209 回

④地域生活支援活動の支援

うきは市全域・地区・行政区を活動範囲とした、地区自治協議会・行政区・ボランティア団体等が行う生活支援活動に対して、役員会・定例会等への参加等の活動支援および、運営支援を行いました。

支援団体

- 1) 住民型有償サービス 14区おたすけ隊（14区内における生活支援活動）
- 2) 住民型有償サービス おおいし絆クラブ（大石地区における生活支援活動）
- 3) 御幸地区自治協議会 生活支援クラブ（御幸地区における生活支援活動）

（３）住民参加による地域福祉事業

①ボランティア活動の推進

ア. ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日（日、祝は休み）の8:30～17:15にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて受給調整を行いました。また、月・水曜日の9:30～15:00は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。

【ボランティアセンター相談受付状況】

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
②ボランティア依頼	18	18	17	20	22	13	18	19	6	21	12	19	203
③情報収集	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19	18	17	21	22	13	18	19	6	21	12	19	205

イ. ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織（低額有償サービス）、ボランティアセンター登録団体への斡旋等を行いました。ボランティア活動相談については、希望に応じて個人や各機関と連絡調整しながら、ボランティア参加を促しました。

【ボランティア活動依頼内訳】

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出・生活援助	通院・通所介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出・旅行介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移送ボランティア	16	17	17	20	22	13	18	19	6	21	12	200
	家事援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小修理	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	理容・美容カット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友愛訪問	保育・遊び相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手・安否確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イベント手伝い・出し物披露	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
技能提供	朗読・点訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・筆記通訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・点字指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のボランティア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		18	18	17	20	22	13	18	19	6	21	12	203

ウ. ボランティア活動保険加入促進

うきは市内や各地の被災地でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

【ボランティア活動保険加入者数 565 名】

エ. ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑に行われるよう、活動費の助成や活動支援を行いました(助成金額572,980円)。

今年度は、5月17日(金)に総会、11月27日(水)に役員視察研修会として、みやき町ボランティア連絡協議会との意見交換が行われました。また、令和7年1月25日(土)にうきは市民センター3階小ホールにて、会員のつどいが開催され、会員同士の交流と情報交換が実施されました。

【うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧】

(令和7年3月31日現在)

	団体名	会員数	活動内容
うきは市ボランティア連絡協議会	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会	61	高齢者（一人暮らし・老夫婦）とのふれあい食事会や手作り弁当の声かけ訪問配布、年末年始声かけ訪問等を行う
	音訳ボランティア 声のグループうさぎ	3	視覚障害者の方に市情報（広報うきは）や物語を録音し届ける
	ハンディ移送サービスうきは	8	高齢者・障がい者の病院等へ移送サービス（会員制）
	ハッピーかい	16	福祉施設や市内のよりあいにて手のぬくもりと会話による癒しをお届けする
	音訳ボランティア ともしび会	8	視覚障がい者の方に市情報（ふくしのかかわり版、うきは市議会だより、赤い羽根だより）や物語を録音し届ける
	点筆の会	6	視覚障がい者の方に暮らしに役立つ身近な情報を点訳し届ける
	かりん	16	よりあいの昼食づくり、一人暮らし高齢者交流会での調理協力
	夕月の会	9	一人暮らし交流会、施設訪問にて銭太鼓等を披露
	ガイドヘルプボランティア	1	障がい者の外出支援
	団体・グループ：9 会員数 128 名		
把握団体	うきは市手話の会	27	聴覚障がい者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	うきうき会（健康づくりボランティア）	12	公民館等において高齢者を対象に軽い体操を実施
	うきは市食生活改善推進会	45	地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	グループいろり	6	クリスマス時期にサンタクロースに扮し、子どもや高齢者にプレゼントを配布
	うきは図書館友の会	14	図書館行事の支援ボランティア
	幸せの会クローバー	7	現役在宅介護者の相談相手や、介護教室等のサポート
	螢火うきは	11	災害ボランティア、ホタル再生活動、被災者支援、防災教育
	防災ネットワーク 人のわ（輪）	5	防災啓発としての講演、計画支援、訓練支援等、発災時及び発災後の支援
	団体・グループ：8 会員数 127 名		
個人	運転ボランティア	30	社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	18	市内でのよりあい健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	20	ボランティアセンター個人登録者
	個人：68 名		
活動者合計 団体・グループ 17（255 名） 個人 68 名			

オ. ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、また、より良いボランティア活動を推進していくために必要な資材を購入し、貸出を行いました。

カ. よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区から指導依頼のあった場合、よりあいコーディネーターに依頼して、派遣指導を実施していただきました(よりあいコーディネーター登録者:個人18名 団体2団体)。令和5年度に比べ、よりあいを再開する区もさらに増えてきましたので、それに伴い、よりあいコーディネーターの派遣も多くなりました。令和6年度は、2月21日、28日、3月7日、14日の計4回、よりあいコーディネーター養成講座を実施し、延79名の方が受講されました。今後、地域のよりあい活動で活躍できるよう支援に努めます。

【ボランティア派遣実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	9	5	11	11	8	11	10	10	9	6	16	15	121
団体	1	2	2	0	0	2	1	3	0	1	1	0	13

キ. ボランティア講習会・研修会の開催

現在ボランティア活動をされている方を対象に、ボランティア講習会を開催しました。また、ボラ連に加入しているボランティアグループの研修開催の支援も行いました。

期 日	会 場	参加者数	内 容
R6.8.7	うきは市総合福祉センター	20 名	運転ボランティア安全運転講習会（講話：うきは警察署）
R6.10.30	うきは市立自動車学校	12 名	運転ボランティア安全運転講習会 （講話・実技：うきは市立自動車学校）

ク. ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化の為、次のつどいに参加しました。

期 日	会 場	参加者数	内 容
R7.2.16	クローバープラザ（春日市）	30 名	ふくおか”きずな”フェスティバル

（４）災害緊急支援活動

①災害ボランティアセンターマニュアルの随時見直し

緊急・災害対策検討委員会を設置し、災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施について協議するとともに、災害時業務継続計画（BCP）策定について協議しました。

回 数	期 日	内 容
第 1 回	R6.5.9	・災害ボランティアセンター設置運営訓練について ・災害ボランティアセンターマニュアルの見直しについて ・緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて ・災害時業務継続計画（BCP）の見直しについて ・今後の災害ボランティアセンターの運営について
第 2 回	R6.5.27	・緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて ・災害時業務継続計画（BCP）の見直しについて
第 3 回	R6.9.24	・災害ボランティアセンター設置運営訓練（職員内部研修）について ・緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて ・災害時業務継続計画（BCP）の見直しについて
第 4 回	R7.3.19	・災害ボランティアセンター設置運営訓練（職員内部研修）について

②災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

うきは市災害ボランティアセンターに係るうきは市との協定に基づき、平時の取り組みとして、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しております。令和 6 年度については、市の総合防災訓練への参加と災害ボランティアセンター運営に係る職員を対象に内部研修を実施しました。

期 日	会 場	内 容
R6.5.26	大石小学校体育館	避難所開設訓練（段ボールベッド、簡易テント設営訓練） 参加：市役所、大石小学校児童、一般社団法人螢火、 うきは市社会福祉協議会
R7.3.13	うきは市総合福祉センター	講義「ICT を活用した災害ボランティアセンターの運営について」 体験「kintone（キントーン）を使った 災害ボランティアセンターの運営」 講師 福岡県社会福祉協議会 地域福祉部災害福祉支援センター 所長 藤本 博昭 氏

③災害ボランティア養成講座の開催 ※キッズチャレンジ大作戦と合同開催

近年、全国各地で大規模災害が毎年のように発生しており、被災地の復興や被災者の生活再建を進めていくためには、多くのボランティアの力が必要となっています。円滑な災害支援を進めていけるよう、災害ボランティアの養成講座を計画しておりますが、今年度は、親子体験型の講座を企画し、8月3日（土）にうきは市総合福祉センターにて、キッズチャレンジ大作戦と併せて実施しました。

④災害支援ボランティア団体「螢火うきは」との連携・支援活動助成

大規模な災害が発生した際、被災地の復旧と被災者の生活再建に向けて、ボランティアによる円滑な災害支援を行えるよう、災害支援ボランティア団体「螢火うきは」と連携し、平時より意見交換や情報共有、活動費の助成や活動支援を行っています。（助成総額：180,000 円）

⑤常設災害ボランティアセンターの設置

災害が発生した際、被災地への災害ボランティア活動が迅速に行えるよう、令和３年度より常設の災害ボランティアセンターを設置し、災害用資機材を保管しています。また、被災地の災害支援を行っているボランティア団体「螢火うきは」の活動拠点としても使用しています。

4. 共同募金配分金事業

(1) 福祉教育に関する事業

①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うために、福祉教育指定校連絡会を開催しました。

コロナ禍で自粛していた体験学習や訪問活動が再開したことを各学校より報告いただきました。

開催日：令和６年６月２５日（火）

会 場：うきは市総合福祉センター

参加者：市内小・中・高等学校（参加：出席１０校）

②福祉教育指定校助成

市内の全小中高等学校１０校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動支援及び助成金を交付しました。

※各学校ごとに計画を立て活動を行っていますが、助成金の残額については年度末に返還がありました。

学校名	年度当初助成額	年度末返金額	助成実績額
山春小学校	60,000 円	0 円	60,000 円
大石小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
御幸小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
千年小学校	70,000 円	36,764 円	33,236 円
吉井小学校	70,000 円	18,064 円	51,936 円
福富小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
江南小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
浮羽中学校	70,000 円	14 円	69,986 円
吉井中学校	50,000 円	0 円	50,000 円
浮羽究真館高等学校	37,000 円	0 円	37,000 円
合 計	637,000 円	54,842 円	582,158 円

③福祉体験学習の支援

学校からの依頼を受けて、児童を対象に福祉体験学習を実施。ゲストティーチャー等の斡旋を行いました。

福祉体験学習を実施する際には、地域の方や介護用品レンタル事業所、ボランティアにもご協力をいただきました。

実施日	学校名	内 容
R6.5.27	千年小４年生	視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話）
R6.6.20		身体障害について、車いす体験（社協職員、ボランティア対応）
R6.6.14	福富小５年生	「ボランティアってなあに？」（社協職員説明）
R6.7.10		災害ボランティアについて （災害支援ボランティア団体「螢火うきは」からのお話）
R6.7.11	吉井小３年生	視覚障害について（当事者からのお話）
R6.10.3	福富小４年生	視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話）
R6.10.10		聴覚障害について、手話体験（当事者からのお話）
R6.10.23		身体障害について、車いす体験 （社協職員、介護用品レンタル事業所、ボランティア対応）
R6.11.14	御幸小４年生	視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話）
R6.11.19		聴覚障害について、手話体験（当事者からのお話）
R6.12.13		身体障害について、車いす体験 （社協職員、介護用品レンタル事業所、ボランティア対応）

R7.2.13	山春小 4 年生	身体障害について、車いす体験 (社協職員、介護用品レンタル事業所、ボランティア対応)
R7.2.27		視覚障害について、アイマスク・白杖体験(当事者からのお話し)
R7.2.14	江南小 4 年生	視覚障害について(当事者からのお話し)

④福祉教育教材の配布

福岡県社協が作成・発行している、福祉教育教材「ともに生きる」を市内全小学校の 4 年生および担当教諭に 1 冊ずつ配布しました。

・ 277 冊(無償配布)

(2) 高齢者への支援

①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出を行いました。

②金婚祝福の会

結婚 50 周年を迎えられたうきは市内に居住するご夫婦を対象に、金婚祝福の会を開催しました。

・開催日/令和 6 年 10 月 11 日(金) 会場/白壁ホール

該当者/34 組(68 名) 出席者/31 組(61 名)

③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

団 体 名	助成金額	活動内容
うきは市老人クラブ連合会	617,350 円	<ul style="list-style-type: none"> ・単位老人クラブ新任会長研修会 ・ペタンク大会 ・幹部研修会 ・高齢者相互支援リーダー研修会 ・北筑後地区老連主催グラウンドゴルフ大会 ・広報誌作成 ・女性部視察研修

④在宅介護者の会「コスモスの会」活動支援助成

在宅介護者の会「コスモスの会」活動への事務的支援と活動費助成を行いました。(助成金額:122,093 円)

期 日	会 場	参加者	内 容
R6.4.30	うきは市民センター 2 階 あひるの子	8 名	役員会
R6.5.9	御幸コミュニティセンター	10 名	「みとりし」映画観賞会参加
R6.5.16	うきは市民センター 2 階 あひるの子	6 名	会計監査
R6.6.12	うきは市総合福祉センター 小会議室	20 名	総会・交流会
R6.8.20	うきはアリーナ	8 名	家族介護者交流会
R6.9.11	うきは市総合福祉センター 和室	16 名	ヨーガ教室
R6.10.2	かわせみホール コミュニティルーム	12 名	陶芸教室
R6.12.16	御幸コミュニティセンター	12 名	料理教室
R7.1.23	久留米市 高良大社	12 名	初詣
R7.3.12	江南地区上菅区古民家	9 名	介護講習会

⑤高齢者安心カード作成(個人情報記載携帯カード)

外出先での急な体調不良に備えるため、主治医や親族の連絡先を記載した「高齢者安心カード」を作成しています。老人クラブを通じて概ね 75 歳以上の登録希望者の方に申し込み記入用紙を配布し、54 名の方の携帯用カードの作成と配布を行いました。

(3) 児童・青少年福祉に関する支援

①子育て支援団体助成

子育て支援に関わる団体に活動費および備品購入費の助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
ウキままばあく	25,177 円	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーマッサージ ・離乳食講座 ・夏祭り ・歯固めワークショップ ・クリスマスコンサート ・ファーストサイン体験会 ・ベビーフォト撮影会 ・おとこの子講座 ・ママのリフレッシュ講座 ・えいごであそぼ ・子育て相談会 ・こどもロコモ

②子ども用遊具貸出

子ども会や学童保育所、子育て支援団体等に必要遊具の貸出を行いました。

③母子・父子福祉活動事業

令和7年度小学校に入学されるお子さんがいるひとり親世帯のうち、希望者に対して、新入学お祝いとして学用品（水彩道具セット）をお送りしました。（お祝い品配布者数：23名）

④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の相談や各種活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市母子寡婦福祉会	346,509 円	<ul style="list-style-type: none"> ・野球観戦（2回） ・バスハイク ・クリスマス会 ・いちご狩り

⑤子育て支援情報の提供

社協の広報誌「ふくしのかわら版」にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。

⑥夏休みの福祉体験学習

夏休み期間を利用して、市内の児童を対象に福祉体験学習を行っておりますが、今年度については、親子参加型で実施し、「親子で災害に備えよう」と題して、防災ワークショップを行いました。

- ・実施日：令和6年8月3日（土）
- ・参加者：7組 16名の親子
- ・講師：螢火うきは（災害支援ボランティア団体）
- ・内容：
 - ・非常時のトイレで何が使えるか試してみよう
 - ・水をろ過してみよう
 - ・ランタンを作ってみよう
 - ・防災・非常食を食べてみよう

⑦保護司会青少年弁論大会への支援・助成

うきは保護区保護司会主催の「うきは青少年弁論大会」への助成を行いました。（助成金額 40,000 円）

⑧「車に子どもが乗っています」ステッカーの配布

うきは市に生まれる子ども達を、地域の皆で支え・育てるという意識の醸成と赤い羽根共同募金の周知・協力の推進を目的に、本会にて作成したステッカーおよび子育て等に関する相談窓口等を記載したチラシを、うきは市役所にご協力いただき、出生届提出時に市役所窓口にて配布しました。

- ・配布者数：131名（令和6年4月～令和7年3月出生者数）

⑨市内小学校新入学児童への黄色い傘配布

うきは市で育つ子ども達を交通事故等から守り、安全で楽しい学校生活を送るために地域の皆で支え・育てるという意識の醸成および赤い羽根共同募金の周知・協力の推進を目的に、共同募金会うきは市支会のオリジナルキャラクター「こころちゃん」とうきは市公式キャラクター「うきぴー」をプリントしたオリジナルの黄色い傘および子育て等に関する相談窓口を記載したチラシを、うきは市教育委員会および各小学校にご協力いただき、配布しました。

- ・配布者数：196名（令和7年4月入学予定児童）

⑩小・中学校制服リサイクル事業への支援・助成

小・中学校の入学時や、子どもの成長に合わせた制服の買い替えには、多額の費用がかかるため、保護者の負担軽減を図ることを目的にうきは市内の小・中学校 PTA が行う制服のリサイクル事業に対し、クリーニングにかかる費用の助成を行いました。

団体名	助成金額	内訳
浮羽中学校 PTA	0 円	受領数：0 着 配布数：32 着
山春小学校 PTA	1,850 円	受領数：3 着 配布数：18 着
大石小学校 PTA	4,800 円	受領数：8 着 配布数：5 着
御幸小学校 PTA	8,350 円	受領数：13 着 配布数：20 着
千年小学校 PTA	7,950 円	受領数：13 着 配布数：8 着
合 計		22,950 円

※浮羽中学校では、今年度より制服が変更となったため、うきは中学校 PTA と話し合い、制服を受領しない形で対応。令和 10 年度までは、旧制服が使用可能なため、制服の配布は継続している。

⑪子育てママの健康美容体操教室

子育て中のお母さんの心と身体のリフレッシュ事業として、子育てママの健康美容体操教室を実施しました。実施にあたって、体操教室中の託児を子育て支援グループのウキまばあくの協力のもと行いました。

開催回数／ 8 回 参加者数／ 42 名（市内または近隣の乳児・幼児の保護者の方）

託児数／ 40 名 託児支援者数／ 16 名

（４）障がい者・家族への支援

①障がい者団体活動支援・助成

障がい者（支援）団体について、担当職員を配置し、団体活動の相談にあたり、活動の助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市障がい者福祉協会	471,960 円	・部会活動（視覚障がい者部会） ・会員交流活動 ・役員研修
うきは地区精神障害者家族会	78,870 円	・会員交流活動（1 回）
うきは市手話の会	40,000 円	・会員研修交流活動
合計	590,830 円	

②障がい者福祉情報の提供

ふくしのかわら版にて、障がい者福祉サービスに関するの情報提供を行いました。

（５）住民全般に関する事業

①地区自治協議会（福祉部門）・活動費助成

自治協議会（福祉部門）活動について、地区担当職員を配置し、活動支援、連絡調整などを行いました。

〔地区自治協議会（福祉部門）活動費算定基準〕

基本配分：各地区とも一律 70,000 円

区数配分：一行政区につき 3,500 円

世帯数配分：一世帯につき 175 円

高齢率配分：うきは市の高齢率 35.7%（R 5.4.1 現在）を基本値（100%）として、各地の高齢率比率を算出し、基本額 100,000 円から、その比率に応じて算出。

各地区自治協議会（福祉部門）に次の活動費を助成いたしました。

【各地区自治協議会助成実績】

妹 川	新 川	田 箆	小 塩	山 春	大 石	御 幸
122,440 円	91,953 円	140,164 円	139,914 円	307,963 円	420,800 円	289,750 円

千 年	吉 井	福 富	江 南	合 計
236,498 円	245,222 円	40,000 円	274,089 円	2,308,793 円

※上記金額には過年度返還金を差し引いた金額を記載しております。

※活動費は各地区自治協議会（福祉部門）における、友愛訪問、福祉委員の研修など、それぞれの地区活動に活用されています。なお、地区福祉大会、地域住民向け研修会等を計画していましたが、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症流行時期と重なったため、中止となった地区もあります。

②社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の地域生活課題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月 1 日に「ふくしのかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だより」を発行し、全戸に配布しました。（年 1 回 ※発行日：令和 7 年 4 月 1 日）

④地域憩いの広場施設整備・補修の助成

地域憩いの広場施設整備・補修の助成をおこなっていますが、今年度は 1 カ所に助成を行いました。

・朝田原区 朝田原区広場 2 連シーソー補修 助成額 49,000 円

⑤要支援・低所得世帯に対する物品寄付

市民の皆様や各関係機関から寄贈していただいております物品を社協にて管理し、支援が必要な世帯や生活困窮等により物品を購入することが難しい方にお渡しし、利用していただいております。

物品受贈数	2 件	電子レンジ…1 件 CD ラジカセ…1 件			
物品寄贈数	8 件	自転車…1 件 炊飯器…1 件	電子レンジ…1 件 冷蔵庫…1 件	カセットコンロ…1 件 鍋…1 件	CD ラジカセ…1 件 IHコンロ…1 件

⑥火災等災害被災者へのお見舞い

火災・水害の被害に遭われた市民の方に対し、見舞金を贈りました。

・件数：1 世帯（総額：50,000 円）

内訳）火災 件数：1 世帯

（6）歳末たすけあい配分事業に関すること

①歳末見舞金

年末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。（事業総額：2,233,180 円）

援護の必要な世帯	27 世帯	976,000 円
長期在宅療養・認知症の方	12 名	216,000 円
在宅重度障がい者（児）	54 名	972,000 円
事故・病気・災害遺児	1 名	18,000 円
両親の扶養のない児童	2 名	36,000 円
事務費（見舞金封筒）		15,180 円

②年末年始援助活動

年末年始援助活動事業費として次の事業に助成金を交付しました。（事業総額：1,604,287 円）

①一人暮らし高齢者等見守り訪問活動	588,123 円
見守りの必要な世帯へのカレンダー配布（711 世帯）	
②施設地域交流事業	91,890 円
浮羽学園「クリスマス交流会」	
障害者支援施設希望が丘「お正月飾り配布」「年賀状配布」	
ワークサポート白鳥の家「お楽しみ交流会」	

③干支飾り配布事業 6,174 円 吉井幼稚園による干支飾り配布事業（414 世帯）
④子育て支援事業 123,699 円 大石・御幸・千年・吉井・福富・江南学童保育所利用児の年末年始交流事業
⑤自治協議会（福祉部門）年末年始援助活動事業 716,921 円 各地区自治協議会（福祉部門）による年末年始援助活動
⑥交流活動事業 40,000 円 うきは市手話の会による交流会活動
⑦地域交流事業 30,000 円 江南地区自治協議会女性部による「かたらんね食堂（地域食堂）」
⑧郵便料・配分金振込手数料 7,480 円

5. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業（市受託事業）

少子高齢化・人口減少の進行、家族形態の変化、地域社会の変容等により、福祉に対するニーズが多様化・複雑化しています。このような中、年齢や性別、障がいの有無を問わず、住み慣れた地域で自分らしい生活が出来る地域共生社会の実現が求められています。

うきは市では、「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業を実施し、地域生活課題を住民が我が事としてとらえ、主体的に解決を図ることができる地域づくりを進めています。住民が抱える困難な課題を丸ごと受け止め、多様な関係機関と協働し、包括的な支援を行いました。

なお、本事業は重層的支援体制整備事業として取り組み、属性や世代を問わない相談支援やアウトリーチを通じた継続的支援、社会とのつながりを回復するための参加支援事業等を推進しています。

（1）福祉小座談会の実施

行政区の役員（区長、分館長、福祉委員、民生委員等）の皆さまと地域での悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を開催しました。

地 区	開催区／行政区	実施区名
山 春	11 / 17	吉広区／上組区／下組区／北原区／畑中区／荒瀬区／川簗石区／西長瀬区／原口区／古賀区／三春原区
大 石	15 / 18	東の一区／東の二区／東の三区／東の四区／東の五区／東の六区／西の四区／西の五区／祇園町区／川端区／下の丁区／温泉区／古川村区／糸丸区／中鶴区
御 幸	20 / 28	松本区／今川通区／東町区／中町区／吉江区／川原町区／宮本区／隈の上区／西町区／旭町区／千足三丁目／朝田原区／小坂区／上流川区／下流川区／東浮羽区／御幸通区／千足五丁目区／浮羽区／大崎区
千 年	2 / 20	日の岡区／若宮区
福 富	13 / 15	東屋部区／西屋部区／東延寿寺区／西延寿寺区／安富区／西屋形区／千代久区／北福益区／西福益区／冠区／八竜区／東屋形区／竹重区
江 南	9 / 19	今泉区／清宗区／上菅区／今竹区／夏梅沖鶴区／中島区／庄園区／新治団地区／金本区
		合計 70 行政区

（2）福祉会設置推進及び研修会

例年、福祉会役員及び各地区自治協議会（福祉部門）役員等を対象に、福祉会研修会を開催しており、今年度は生活困窮者支援等のための地域づくり事業市民公開講座と併せて開催しました。

(3) 福祉会活動支援・助成

うきは市内に 33 福祉会（40 行政区）がありますが、助成要望書の提出があった 24 の福祉会について、活動費の助成をおこないました。

地区	福祉会名	設立年度	地区	福祉会名	設立年度
大石	古川村区福祉会	平成 12 年度	御幸	朝田原区福祉会	平成 20 年度
山春	保木区福祉会	平成 12 年度	御幸	中町区福祉会	平成 20 年度
山春	袋野区福祉会	平成 12 年度	御幸	御幸通区福祉会	平成 20 年度
山春	西長瀬区福祉会	平成 12 年度	御幸	浮羽区福祉会	平成 21 年度
山春	荒瀬・畑中区福祉会	平成 12 年度	大石	西の 4 区福祉会	平成 22 年度
御幸	川原町区福祉会	平成 13 年度	山春	吉広区福祉会	平成 24 年度
妹川	檉ヶ平区福祉会	平成 13 年度	山春	上組区福祉会	平成 24 年度
御幸	旭町区福祉会	平成 13 年度	山春	下組区福祉会	平成 24 年度
山春	三春原区福祉会	平成 14 年度	江南	庄園区福祉会	平成 26 年度
大石	東の 6 区福祉会	平成 15 年度	江南	今泉区福祉会	平成 27 年度
大石	中鶴区福祉会	平成 15 年度	山春	原口区福祉会	平成 28 年度
大石	糸丸区福祉会	平成 15 年度	江南	今竹区福祉会	平成 28 年度
山春	大野原区福祉会	平成 16 年度	大石	西の 1 区福祉会	令和 5 年度
大石	東の 4・5 区福祉会	平成 17 年度	大石	西の 2 区福祉会	令和 5 年度
大石	東の 1・2・3 区福祉会	平成 17 年度	大石	西の 3 区福祉会	令和 5 年度
大石	古川町福祉会	平成 17 年度	大石	西の 5 区福祉会	令和 5 年度
山春	川籠石区福祉会	平成 18 年度			

助成金については、基本助成として 10,000 円を、活動応分助成として実績を精査の上で追加助成します。また、よりあい開催費については、別途よりあい活動助成をおこなっておりますので、福祉会活動助成には含まれません。

なお、大野原区福祉会、荒瀬・畑中区福祉会、袋野区福祉会、川籠石区福祉会、三春原区福祉会、東の六区福祉会、中町区福祉会、御幸通区福祉会、庄園区福祉会については、助成要望書の提出がありませんでした。

(4) 「生活・福祉丸ごと相談」窓口の開設および相談支援

社会福祉協議会の吉井・浮羽事務所に「生活・福祉丸ごと相談」の窓口を設置し、相談支援を行うほか、関係機関等と連携し、相談者の課題解決に向け、複雑化・複合化した課題を整理した上で継続的な支援を行うアウトリーチ、社会とのつながりの構築に向けて必要な支援を行う参加支援等の各種支援を行いました。相談内容としては、生活に関することが一番多く、「どこに相談していいかわからない」「こんなことを相談していいのだろうか」と誰にも相談できずに困りごとを抱えている方が多い傾向にあるようです。今後も生活上の様々な課題を受け止め、解決に向けた支援を行います。

【生活・福祉丸ごと相談対応件数】

相談者（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	5	9	10	11	10	6	4	2	7	6	8	7	85
家族	0	0	0	1	3	2	0	2	2	1	1	1	13
地域の関係者	8	0	11	3	13	6	2	3	11	2	10	1	70
専門機関	4	0	15	8	12	1	8	2	8	10	10	3	81
その他	2	0	1	1	4	0	2	0	0	4	8	0	22
合計	19	9	37	24	42	15	16	9	28	23	37	12	271

※相談に複数の関係者が同席している場合があり、それぞれ 1 人としてカウントしている。

相談内容（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者に関すること	10	5	17	12	27	9	13	4	16	19	24	8	164
障がい者に関すること	7	5	12	7	11	3	2	0	2	0	0	1	50
子どもに関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

生活困窮に関すること	8	4	13	11	19	3	3	2	15	8	4	11	101
住まいに関すること	0	0	1	0	3	1	3	0	0	0	0	3	11
生活に関すること	18	9	29	22	39	15	16	9	24	19	25	12	237
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	43	23	72	52	99	31	37	15	57	46	53	35	563

※ 1 件の相談で相談内容が複数あったものはそれぞれカウントしている。

対応件数（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	3	6	6	3	6	6	3	0	7	5	5	4	54
面接	3	2	3	3	0	2	2	1	3	3	2	2	26
電話	5	1	6	7	13	5	3	3	3	4	3	2	55
手紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
メール（SNS等含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同行支援	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3
関係機関との調整	7	0	14	8	20	2	8	5	11	7	13	4	99
その他	0	2	2	2	1	1	0	0	4	4	2	1	19
合計	18	11	31	24	40	16	16	9	28	23	27	14	257

※ 1 件の相談で対応件数が複数あったものはそれぞれカウントしている。

支援内訳	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続
アウトリーチ	0	5	0	7	0	15	0	10	0	21	0	1
参加支援	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0
その他	5	8	2	0	4	10	3	6	5	13	6	8
合計	5	13	2	7	4	25	4	18	5	34	6	9

支援内訳	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続
アウトリーチ	0	5	0	1	1	14	0	7	1	16	0	11	2	113
参加支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
その他	4	7	4	4	2	7	5	7	3	5	1	0	44	75
合計	4	12	4	5	3	21	5	14	4	21	1	11	47	190

アウトリーチ：複雑化・複合化した課題を抱えた方、本人の主訴が明確ではなく課題の整理が必要な方に対し、継続的な支援を行った件数

参加支援：社会とのつながりの構築に向けて、必要な支援を行った件数

その他：相談のみで対応し、終結もしくは他機関につないだ件数

（５）民生委員・福祉委員懇談会への助成

地域における福祉活動の推進役である民生委員と福祉委員の活動推進を図るため、情報共有や、相互の連携を目的とした地区懇談会の開催に対して助成を行いました。

助成実施行政区：43 行政区（吉井：16 行政区 浮羽：27 行政区）

参加者：136 名（民生委員・福祉委員・区長・分館長・ボランティア等）

6. 生活困窮者等のための地域づくり事業（市受託事業）

生活困窮世帯が抱える多様な生活課題に対応できるよう、課題やニーズ等の把握、生活困窮者支援に関わる情報発信、地域や団体、企業、関係機関等の多様な担い手が連携する仕組みづくりを通じて、身近な地域における共助の取り組みを活性化させ、うきは市が一体となって支え合える体制づくりと生活困窮者支援の拡充を図りました。

(1) 市民公開講座の開催

生活困窮者の課題と支援について市民へ啓発を行い、支え合いのまちづくりを進めていけるよう、市民公開講座を開催しました。今回は、「食を通じた支援と社会貢献～食のつながりで支え合うまちづくり～」をテーマに講演と本会事業の説明を行いました。

期 日	会 場	参加者数	内 容
R7.1.29	うきは市民センター	36 名	講演：「食を通じた支援と社会貢献 ～食のつながりで支え合うまちづくり～」 講師：特定非営利活動法人フードバンク福岡 理事・事務局長 岩崎 幹明氏 事業説明：「うきは市社会福祉協議会フードバンク事業 うきうきフードバンク『うきたべる』について」

(2) 市内子ども食堂との連携

子ども食堂との連携体制の構築を進めていくため、市内子ども食堂3団体（よいしい子ども食堂、ふくどみ子ども・地域食堂運営委員会、うきはみらいゼミ）へ、ヒアリングを実施し、食品譲渡団体の登録と食品の譲渡に関する合意書を交わし、食料品等の提供を行いました。

(3) フードバンク事業 うきうきフードバンク『うきたべる』の開設

うきは市内で生活に困っている方など、様々な事情で食べることに課題を抱えている方々に対して、個人や団体、企業の方からいただいた食料品等を提供し、食を通じた支援を行うため、今年度よりフードバンク事業を立ち上げました。また、事業名称をうきうきフードバンク『うきたべる』、活動に協力いただける団体・企業を「うきうき隊」と名づけ、親しみの持てる名称にしました。

事業名称：うきうきフードバンク『うきたべる』

活動協力団体・企業の名称：うきうき隊

①うきうき隊の登録

本事業の活動にご理解いただき、食料や金銭の寄付等に協力いただける団体・企業を「うきうき隊」として登録いただきました。提供いただいた食料品等は、生活困窮者自立支援事業で関わりのある世帯や子どもの食の支援等にて活用しています。

令和7年1月31日（金）には、株式会社セブン・イレブン・ジャパンとフードドライブ実施に関する協定調印式を行い、協定を締結しました。この協定に基づく取り組みは福岡県内で初となり、市内セブン・イレブン6店舗でフードドライブに取り組み、集まった食料品等を本会に提供いただきました。また、福岡市で活動しているNPO法人フードバンク福岡と連携し、長期保存可能な食料・清涼飲料水・お菓子などを不定期で提供いただき、市内問わず幅広いフードバンクのネットワークと連携し、市内支援活動に活かしています。なお、うきうき隊に登録していただいている19の団体・企業以外にも5企業から食料品等を提供いただいております。

団体	企業
高齢者複合施設ケアビレッジかわせみの郷	うきはアリーナ
社会福祉法人ひじり会 特別養護老人ホーム ひじり園うきは	セブン・イレブン 福岡吉井新馬場店
社会福祉法人幸福福祉会 有料老人ホーム エバーガーデンうきは	セブン・イレブン うきは鷹取店
社会福祉法人両筑福祉会 浮羽学園	セブン・イレブン うきは千年店
社会福祉法人凶南会 特別養護老人ホーム えびね荘	セブン・イレブン うきは高見店
社会福祉法人浮羽コロニー 障害者支援施設 希望が丘	セブン・イレブン うきはバイパス店
社会福祉法人幸福会 うきは幸輪保育園	セブン・イレブン うきは土取店
社会福祉法人幸福会 わかば幸輪保育園	
社会福祉法人遊林福祉会 幼保連携型認定こども園 遊林愛児園	
社会福祉法人ふたば会 特別養護老人ホーム 水月吉井	
社会福祉法人ふたば会 養護老人ホームうきは	
福富校区老人クラブ連合会	
合計 12 団体	合計 7 企業

②フードバンク支援件数

支援世帯実績：104 世帯 317 名

区分	世帯
生活困窮	61
障がい	23
ひとり親	33
多子※	18
その他	21
計	156

・区分に関して世帯の重複あり

※ 18 歳以下の子が 3 名以上いる世帯

事業	世帯	世帯人数	支援回数
自立相談支援事業	57	164	197
就労準備支援事業	12	20	264
障がい者相談支援事業	3	14	13
小学生の朝食支援	12	14 ※	119
計	84	212	593

・事業に関して世帯（世帯人数）の重複あり

※小学生の朝食支援（世帯人数）は世帯人数ではなく、朝食支援を受けた児童数

事業	世帯	世帯人数	支援日数
学習・生活支援事業	13	51	91
こどもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業	13	64	239
計	26	115	330

7. たすけあい献血推進事業

うきは市が実施する年頭献血の日程や会場等を本会広報誌に掲載し、市民の皆さまへ広報啓発を行いました。

8. 移送サービス支援事業（市補助事業）

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、移送サービスの支援を実施しました。通院の送迎が主ですが、通院の帰りに買い物へ行く場合もあります。送迎用の車輛は、4 人乗り軽自動車、軽車イス対応車から選択することができます。軽車イス対応車については、車イスに乗ったままの移送が可能です。（利用無料、活動協力費を社協助成 / 助成額 289,250 円）

・協力会員：8 名

・利用会員：17 名

（高齢者 17 名、身体障がい者 0 名、視覚障がい者 0 名、知的障害者 0 名、難病・虚弱 0 名）

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数		11	12	12	12	12	14	12	12	13	13	10	13	146
内 訳	独居高齢者	6	7	7	6	7	9	8	8	9	8	5	8	88
	高齢者世帯	5	5	5	6	5	5	4	4	4	5	5	5	58
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視覚障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	難病・虚弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移送件数		16	18	16	15	18	18	17	19	16	19	14	18	204
内 容	通院送迎	16	18	16	15	18	18	17	19	16	19	14	18	204
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用時間（時間）		51	41	50	43.5	49	52.5	50.5	54	46.5	50.5	40	50	578.5
走行距離（km）		422	330	383	335	398	412	379	430	362	405	344	424	4,624

《相談支援係》

1. 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

生活困窮者自立支援事業では、働きたくても働けない、住むところがない等といった様々な相談をお受けし、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援者が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、課題の解決に向けた支援を行いました。

この事業は、これまでの高齢者や障がい者といったカテゴリーごとの福祉制度と違い、失業者、多重債務者、ニート、ひきこもりなど、様々な方への支援や、複合的な課題を抱え、これまで制度の狭間に置かれてきた方々への支援を行う事業となっています。本会でも市の委託を受けて、自立相談支援事業（個別支援計画策定）、就労準備支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習・生活支援事業を実施しました。

（1）自立相談支援事業

生活困窮問題についての相談をお受けして、解決策を検討しました。相談内容は以下の通りで、非常に多岐にわたった内容となっています。現在でもコロナ禍の影響を受けた世帯が多く、相談件数はコロナ禍以前よりも増加した状態が続いています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談所開設日数	21	21	20	22	21	20	22	20	20	19	18	20	244
相談対応者数	79	77	56	52	58	61	48	55	59	47	44	56	692
うち保護受給者数	4	5	4	6	6	6	5	7	9	4	5	4	65
相談対応総数（訪問含）	107	128	94	87	97	103	106	92	106	89	72	102	1,183
新規相談者数	13	9	4	8	8	6	4	7	6	6	8	3	82

	内容
相談内容上位1位	生活困窮相談
相談内容上位2位	近況報告
相談内容上位3位	家族・家庭関係

①個別支援計画策定

生活困窮状態から脱却するために、本人の意思を尊重しながら自立支援に向けた計画を策定し、利用者はこのプランに基づいた就労準備支援や家計改善支援などを受けています。また、近年は物価高騰に伴う家計圧迫により生活が厳しい世帯に対しても必要に応じて計画を策定し、継続的な支援を行っています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規個別支援計画策定件数	1	0	3	2	2	0	1	0	1	1	1	2	14
うち保護受給者数	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
再プラン策定件数	5	0	9	4	3	3	10	3	2	2	4	2	47
終結件数	1	0	0	1	1	1	3	1	1	0	0	0	9
中断件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3	0	0	5
現実施計画累計数	36	36	38	39	40	38	36	35	35	33	34	36	

※ 5月の支援調整会議が翌月開催に延期となったため、策定件数が0となっています。

（2）就労準備支援事業【内職シェアステーション Coccoconne（こここんね）開設状況】

就労準備支援事業として、うきは市総合福祉センター内に内職シェアステーション Coccoconne を設置し、3種類の内職作業を提供しながら、就労に向けての訓練や他者とのコミュニケーションの訓練、社会参加を促すようなグループ活動などを実施しました。また、内職受注先である長尾製麺株式会社のご厚意により、袋詰めしたラーメン・そばを「自立ラーメン まえむき」「自立そば つながり」としてパッケージし、販売させていただき、今年度も、各自治協議会から見舞品等としてご購入いただきました。この販売収益が作業者の安定した収入と就労へのモチベーションへと繋がっています。

〔通所者工賃〕 令和6年4月～令和7年3月 一人平均 69,013 円

〔内職受注先〕

事業所名	所在地	作業内容
株式会社 熊谷ゴム	久留米市田主丸	ゴム製品のバリ取り
長尾製麺 株式会社	うきは市吉井町	ラーメンの袋詰め
株式会社 ラバーテック	朝倉市杷木	ゴム製品のバリ取り

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	21	21	19	22	19	20	22	20	20	19	18	20	241
通所者数	6	7	9	10	11	10	10	10	6	9	8	10	106
うち保護受給者数	2	2	4	4	4	3	3	3	1	2	2	3	33
延べ人数	87	95	96	137	108	141	153	129	98	112	105	101	1,362
うち保護受給者延べ人数	38	35	30	55	36	47	51	46	19	29	29	25	440
1日平均利用者数	4.1	4.5	5.1	6.2	5.7	7.1	7.0	6.5	4.9	5.9	5.8	5.1	5.7
受注事業所件数	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	

(3) 家計改善支援事業

家計改善支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計管理できるように、相談支援、関係機関へのつなぎ等を行い、生活再生を支援しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家計に係る相談件数	1	3	2	4	1	1	2	1	3	2	2	1	23
うち事業対象者数	1	1	1	3	2	1	3	1	3	2	2	3	23
うち生保に繋いだ件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

(4) 子どもの学習・生活支援事業

生活困窮している世帯、ひとり親世帯等の中学生（登録 14 名）を対象とした学習・生活支援を、市内 2 ヶ所で開催し、大学生ボランティア等の協力も得ながら、学習機会の確保と学習習慣の定着及び居場所支援を行いました。また、フードバンク福岡や市内の協力企業・団体のご協力により、中学生への食品等の提供も行いました。不登校や虐待（ネグレクト）や貧困課題を抱えた世帯に対しては、自宅訪問し、現状確認や相談対応を行いました。

本事業においては、近隣大学である久留米大学や市内中学校、行政機関と連携し、幅広いネットワークの中で柔軟に子どもたちの状況を把握し、多面的な支援体制の構築を実施しています。

【対応人数】

	吉井町域	浮羽町域	合計
実人数	8 名	6 名	14 名

※ 3 年生 7 名、2 年生 5 名、1 年生 2 名

【利用者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
吉井会場の開設日数	3	5	3	5	4	4	4	4	4	4	4	3	47
浮羽会場の開設日数	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	3	4	48
訪問支援日数	5	5	4	3	3	2	3	0	5	2	3	9	44
合 計	12	14	11	12	11	10	12	8	13	10	10	16	139
(吉井) 利用者数	5	7	7	6	7	6	6	6	6	6	6	6	74
(浮羽) 利用者数	2	3	3	4	5	4	5	5	5	4	3	4	47
(高校生) 利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
合 計	7	10	10	10	12	10	11	11	13	10	9	10	123

【進路実績】

進 学 先
福岡県立高等学校 5 名合格・進学
大分県私立高等学校 1 名合格・進学
3 年生 6 名全員が進学先決定

2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業（市受託事業））

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送られるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行いました。今年度の実利用者は40名であり、地域での暮らしを支える事業として、尊厳のある本人らしい生活を継続するための大きな役割を果たしています。

【契約締結審査会の開催】

回数	期日	会場	審査対象者数	出席者
第1回	R6.5.21	うきは市総合福祉センター	2名	委員6名

【相談経路】〔利用者（契約者・試行利用者）実人員45名〕

本人	2	親族	5	民生委員・児童委員	4
医療機関	5	特別支援学校	1	入所施設	1
介護支援専門員	2	障害者相談支援事業所	8	うきは市福祉事務所	7
うきは市税務課	1	うきは市保健課	1	保健福祉環境事務所	1
家計改善支援事業	1	他市町村社会福祉協議会	1	合計	40

【契約者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	10	10	9	9	9	8	8	8	8	8	8	103
	身体障がい者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	知的障がい者	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	238
	精神障がい者	5	5	6	6	6	5	5	5	5	5	5	63
	その他	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
試行利用契約		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		38	38	39	39	39	37	37	37	37	37	37	452

【訪問・活動回数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	65	55	50	50	51	46	46	40	39	42	36	563
	身体障がい者	10	8	2	3	4	2	2	4	8	6	2	55
	知的障がい者	108	123	120	118	119	101	122	113	126	115	122	1,406
	精神障がい者	52	55	75	81	66	57	67	51	58	55	54	724
	その他	15	13	12	16	9	10	15	12	11	16	11	151
試行利用契約		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		250	254	259	268	249	216	252	220	242	234	225	2,899

【その他】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談	5	1	1	0	1	3	1	2	4	3	5	2	28
新規契約者	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
契約終了者	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3

新規利用者は2名であり、この数年間は横ばいの傾向となっています。契約終了者は3名で、死亡・市外転出による解約、市長申立にて後見移行となったケースもありました。その他権利擁護に関する相談件数は、前年度と比較して約1.5倍の増加となりました。そのうち成年後見に係る相談が約3割を占め、後見需要の高さが伺えます。

契約事項	サービス内容
福祉サービス利用援助	福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払い代行等
日常的金銭管理	公共料金等の支払い代行、預貯金の出し入れ支援、生活費等の受け渡し等
書類等預かりサービス	日常的金銭管理に利用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり
貸金庫保管サービス	社協が契約した金融機関の貸金庫を利用した定期通帳等の保管

【生活支援員の活動について】

地域住民の方の中から生活支援員を養成し、日常生活に必要な生活費等の受渡しのみならず、生活状況の確認や心配ごとの相談を受けるなど利用者に合わせた支援を行っています。生活支援員ならではの視点をもって利用者と関わることで、新たな発見や気づき、利用者と地域とのつながりを維持する働きがあります。

<福祉サービス利用援助事業>※生活支援員 3 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	3	6	6	4	2	4	5	2	2	2	2	3	41

<成年後見事業>※生活支援員 1 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	1	2	2	2	2	0	3	0	1	2	1	2	18

3. 成年後見事業

家庭裁判所より成年後見人等を受任し、家庭裁判所の監督のもと、被後見人等の財産管理及び身上監護を行いました。今年度は、受任している 1 名の被後見人の入退院に際し、医療に係る同意や緊急時の対応を、各関係機関と連携しながら協議を重ね、必要な対応方法の流れのフロー表を作成しました。

(1) 法人後見審査会の開催

回 数	期 日	会 場	内 容	参加者
第 1 回	R6.5.21	うきは市総合福祉センター	受任状況（3 件）の報告	4 名

※法人後見審査会の構成員…行政、医師、司法書士、民生委員等

(2) 法人後見受任状況

No.	性別	類型	症状	審判を受けた年	申立人	ご本人の居住	利用経緯等
1	女性	後見	知的障がい	H 28 年度	市長	在宅→施設	福祉事務所福祉係
2	女性	後見	知的障がい	H 29 年度	市長	在宅	福祉サービス利用援助事業利用者
3	男性	保佐	知的障がい	R 5 年度	市長	在宅	福祉サービス利用援助事業利用者

(3) 市民後見推進事業（市受託事業）

今年度は「一緒に学んでみませんか？成年後見制度！」と題して、成年後見制度、市民後見人普及・啓発講座を開催し、成年後見制度や市民後見人の必要性について、地域住民に広く啓発と推進を図りました。

回 数	期 日	内 容	参加者
第 1 回	R6.11.20	「成年後見制度とは～自分らしく暮らすために～」 講師：久留米第一法律事務所 弁護士 市橋 康之氏	17 名
第 2 回	R6.12.5	「事例で学ぶ市民後見人の役割～活動の実際を知ろう～」 講師：大牟田市成年後見センター長 竹本 安伸氏 市民後見人 奥園 吉忠氏	9 名

[会場：うきは市総合福祉センター]

4. うきは市障害者相談支援センター（市受託事業）

障害者相談支援事業では、障がい者（児）の様々な相談に応じています。今年度も相談内容は多岐にわたっており、健康面や医療・就労に関する相談に加えて不登校や引きこもり等の若年層の相談件数が増加傾向にあります。今後も関係機関との連携および内部連携を密に行い、様々な生活上の相談に対して利用者の方に寄り添った支援を継続していきます。

(1) 障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障がい者（児）の様々な相談に応じると共に、障害者総合支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害支援区分認定調査及び障害支援区分認定審査会へ参加しました。

【相談件数・相談内容】

相談方法		身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	関係機関	その他	合 計
	電 話	49	216	334	1,294	220	2,113
	来 所	14	112	77	235	49	487
	訪 問	105	233	166	62	15	581
	メール	0	0	60	13	11	84
合 計		168	561	637	1,604	295	3,265
相談内容 内 訳	①福祉サービスの利用	89	228	291	711	167	1,486
	②障害や病状の理解	6	49	69	186	24	334
	③健康・医療	11	68	68	232	21	400
	④不安の解消・情緒安定	3	17	73	30	5	128
	⑤保育・教育	0	0	8	31	11	50
	⑥家族関係・人間関係	2	22	34	94	31	183
	⑦家計・経済	3	45	7	91	5	151
	⑧生活技術	11	41	35	65	6	158
	⑨就労	6	41	10	99	8	164
	⑩社会参加・余暇活動	0	6	8	16	10	40
	⑪権利擁護	0	0	0	1	0	1
	⑫その他	37	44	34	48	7	170
	合 計	168	561	637	1,604	295	3,265

【会議等】

障害支援区分認定調査件数	108 件
障害支援区分認定審査会参加	12 回
地域障害者協議会 全体会	1 回
地域障害者協議会 事務局会議参加	10 回
地域障害者協議会 児童部会参加	4 回
地域障害者協議会 就労支援部会参加	9 回
地域障害者協議会 計画相談部会参加	5 回
地域障害者協議会 地域生活支援拠点会議参加	4 回

(2) 障害者社会参加促進事業

うきは市総合福祉センターにおいて、障がい者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センター「ほっとスペースうきは」を運営しました。センターでの活動に際しては、利用者の皆さんに登録を頂き、利用していただいています。

ここ数年のコロナ禍では、ほっとスペースうきはの利用者は減少していましたが、昨年度より利用者も増加傾向にあります。(前年比 36%増) 12月13日にほっとスペース交流会のバスハイクを開催し、10名が参加されました。

【ほっとスペースうきは利用実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	6	9	8	10	11	10	10	11	15	9	9	9	117
内 訳	身体障がい者	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	13
	知的障がい者	2	2	2	3	2	2	2	7	1	2	1	27
	精神障がい者	1	1	1	2	4	3	3	5	3	2	3	30
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	5	4	4	4	4	4	3	5	4	4	47
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者延人数	87	96	94	144	125	138	155	133	107	109	108	106	1,402
内 訳	身体障がい者	17	9	2	13	14	17	18	2	9	12	3	133
	知的障がい者	26	32	26	40	31	30	27	22	13	15	13	291
	精神障がい者	3	9	8	7	29	35	43	39	25	25	29	276
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	41	46	58	84	51	56	67	61	63	56	61	702
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新規登録者	6	3	0	3	2	0	0	7	3	1	0	3	28
内 訳	身体障がい者	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
	知的障がい者	2	0	0	1	0	0	6	0	0	0	0	9
	精神障がい者	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	7
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	3	0	1	0	0	0	0	1	0	2	9
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見学者数	1	0	0	3	2	0	0	0	0	44	18	31	99
内 訳	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障がい者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	精神障がい者	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	4
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	44	18	31	93

【その他】

令和6年12月13日（金）ほっとスペース交流会：バスハイク 10名参加 別途手話通訳 1名参加
（身：2名 知：6名 精：1名 他：1名）

（3）点字・声の広報等発行事業

市内の視覚障がい者の方へ、朗読ボランティア（声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会）の協力により、広報うきは、ふくしのかわら版、うきは市議会だより、赤い羽根だよりを定期的に、また必要に応じて身近な情報を音声データに録音し届けました。（利用者：4名）

また、市内の点字を利用している視覚障がい者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、身近な情報を点訳し届けました。（利用者：6名）

（4）指定相談支援事業

障がい者（児）等からの相談に応じ、サービス事業所、施設、病院などの関係機関と連絡調整を行い、地域で安定した生活ができるような支援計画を作成しました。障がい者（児）の計画作成数は増加しています。（前年比9.9%増）その他、利用者の心身の状況によって、サービス提供状況の確認や計画の変更その他必要な便宜の提供について検討を行うとともに、集中支援として、面談や会議の実施、病院や関係機関との連絡調整又は情報提供や同行支援などを行っています。今後も障がい者（児）が継続してサービスを利用していく中での満足度や新たな生活ニーズを分析・点検していきます。

①指定特定相談支援事業（市指定）：サービス等利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成数	6	5	8	11	3	6	9	9	4	3	8	4	76
モニタリング件数	5	5	4	5	8	1	7	5	8	12	6	9	75
集中支援加算数 (担当者会議、受診同行等)	0	0	0	0	0	1	2	4	3	0	4	2	16

②障害児相談支援事業（市指定）：障がい児通所サービス利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成数	0	0	0	1	2	2	0	2	1	0	0	0	8
モニタリング件数	1	1	1	1	0	0	0	0	0	3	1	1	9
集中支援加算数 (担当者会議、受診同行等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

③指定一般相談支援事業（県指定／平成25年10月1日）：地域移行支援、地域定着支援の実施

・計画策定なし

5. 不登校・引きこもり対策相談支援事業（市受託事業）

不登校の子どもたちやひきこもり状況にある方、またその家族に対し、専門相談員が相談に応じると共に、本人の同意を得た上で訪問活動を行いました。必要時、関係機関と情報共有等を行いながら包括的な支援を展開するなど、当事者の希望に応じた支援を行いました。

また、相談・交流スペースを設置し、フリースペースとして開放すると共に、専用相談ダイヤルの設置やメールでの相談対応、家族会の開催等も積極的に展開しました。

セミナーに関しては、不登校・ひきこもりの理解に関する啓発を目的に市民向けセミナーを開催しました。

【支援実人員と相談・訪問支援件数】

	不登校	ひきこもり	合計
支援実人数	25	19	44
支援方法	不登校	ひきこもり	合計
相談支援（電話・メール・来所）／回	338	160	498
訪問支援（自宅訪問）／回	51	51	102
関係機関連携（会議、情報共有等）／回	457	22	479
合計	846	233	1,079

【支援状況】

経過（不登校）	人数	経過（ひきこもり）	人数
進路決定	3	就労開始・継続	0
登校開始・継続	13	就労準備支援利用	1
就労開始・継続	1	ひきこもり気味	6
他機関に移管	0	完全ひきこもり	5
完全不登校	0	障害サービス利用	0
ひきこもりに移行	1	支援終結	6
転出	0	登校開始（通信含む）・継続	1
支援終結	7		
合計	25	合計	19

【フリースペース利用状況・回数】

利用者	人数
不登校	7
ひきこもり	0

利用者	回数
不登校	148
ひきこもり	0
家族・関係機関	60

■不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催

期日	会場	参加人数	内容
R6.8.20	うきは市総合福祉センター	20名	もしわが子が「不登校／引きこもり」になったら？！ ～子ども・若者の声に耳を傾けるには～

■サポート協議会の開催（市と共催）

不登校・引きこもり者本人の自立を促進し、本人及び家族等の福祉を増進することを目的として、不登校・引きこもり対策のネットワーク構築を図るために、市と共催でサポート協議会を開催しました。

今年度は本事業の活動報告と各機関の事例について紹介し、当事者・家族との関わり方や支援方法など情報共有を行いました。

期日	会場	参加人数	内容
R6.10.1	うきは市役所西別館	20 名	・令和 5 年度不登校・引きこもり来策相談支援事業報告 ・事例検討・意見交換会

【構成委員】

市内精神科医療機関関係者	北筑後保健福祉環境事務所関係者
民生委員児童委員協議会関係者	社会福祉協議会関係者
教育センター関係者	家庭児童相談員
小学校・中学校校長会関係者	福祉・医療・保健分野において専門資格を有する者
適応指導教室（キーノート）関係者	福祉、保健、教育等行政職員
その他、委員会において必要と認められた者	

■家族会「みつばちの会」の支援

家族支援の観点から、「うきは市不登校・ひきこもりを考える会」と共催で家族会を開催し、毎月第 3 水曜日の 19 時から定例会を開催しました。参加者は毎月 9 名程度で、コーディネーターに長阿彌幹夫氏（教育文化研究所代表）をお迎えし、家族の視点で不登校・ひきこもりについて考えました。今年度は延べ 12 回の開催、111 名の参加がありました。

6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業（市受託事業）

第 2 期うきは市子ども・子育て支援事業計画に基づき、経済的に困窮している世帯やひとり親世帯、生活保護の子ども達への学習機会の確保や生活習慣の定着を目的に、包括的に支援する居場所として、うきは市子ども・若者未来応援センター「こころん」の運営を行いました。

こころんでは、家庭学習の課題（宿題）に毎回取り組むことで、学習習慣の定着化を目指すともに、家庭環境等に配慮した居場所活動、集団遊び等を通しての集団適応力の習得を支援しました。

また生活支援の一環として、買い物体験、食事作り、洗濯、衣類等の補修を実体験する等、生活力を身につける活動を行いました。

なお令和 5 年 7 月より、うきは市総合福祉センター 2 階を拠点として活動しています。快活な子ども達の声がセンター内に響き、多様な立場や年代の方々とのふれあいは、子ども達が社会性を学ぶ良い機会となっております。

今後も、子ども達に精神的に寄り添いながら支援環境を整え、世帯からの相談をお受けする中で良好な関係を築いていきます。また子ども家庭センターと連携しながら、学校・家庭と社会資源を繋ぎ、子どものみならず、世帯の一体的な支援へと結びつけていきます。

（1）拠点名称：うきは市子ども・若者未来応援センターこころん

（2）利用者実数

利用者	実人数
小学 1 年生	3 名
小学 2 年生	1 名
小学 3 年生	4 名
小学 4 年生	4 名
小学 5 年生	5 名
小学 6 年生	1 名
中学生	2 名
保護者	18 名
合 計	38 名

(3) 延べ開所日数・延べ参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	21	19	22	16	19	22	20	20	19	18	20	237
こころん延べ参加人数	155	161	137	152	119	139	158	152	182	128	140	160	1,783
訪問・初回面談数	4	6	4	7	6	0	2	10	4	8	18	3	72

(4) 相談対応・連携件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保護者	103	90	93	95	85	93	114	110	139	113	107	129	1,271
支援関係者	37	57	38	37	43	37	36	35	36	32	19	31	438

(5) 支援関係者との連携

- ・支援関係者会議 3 回出席
(令和 6 年 5 月 7 日 (火)、7 月 3 日 (水)、10 月 24 日 (水))
- ・うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク事業 実務者会議 1 回開催
(令和 6 年 9 月 11 日 (水))

(6) フードバンク支援

複数の市内事業所にご協力いただき、うきは市の子どもの食を支援するというあたたかい想いから、パン・ケーキ等の食品を不定期で提供いただいています。提供いただいた食品は子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業だけではなく、生活困窮者自立支援事業における学習・生活支援等にも活用しています。

福岡市で活動している NPO 法人フードバンク福岡と連携し、長期保存可能な食料・清涼飲料水・お菓子などを不定期で提供いただくことや、地域事業所や地域団体のフードドライブ・フードパントリー活動にて集められた生活物品や食料品を提供いただくなど、市内外問わず幅広いフードバンクのネットワークと連携し、市内支援活動に活用しました。

7. 高齢者等住まい・生活支援事業（市受託事業）

(1) 住まいと住まい方に関する相談

市の委託を受け、地域包括ケアシステムの基礎となる「住まい」と「住まい方」を支援する事業として、空き家を活用した住まいに関する相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」（吉井町 1097 番地 1）を週 3 日（月・水・金）開設、高齢者等の住み替えや住宅改修等の相談に応じました。

平成 27 年度の事業開始からの住み替えに関する実相談者数は 96 件です。住み替えが困難な方の相談も、地元不動産業者のご協力により入居へつながっています。その他の相談としては、介護保険サービスに関する相談や、自宅の老朽化等、相談が多岐にわたっています。また、住み替え相談から派生した様々な生活課題についても、関係機関と連携し対応しました。相談支援の他にも気軽に集える「つどいの場」を併設しているので、日頃のちょっとした心配ごとや体調の不安など様々な相談も増えています。

【住まいと住まい方に関する相談実績】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内初回相談
電話相談	17	11	12	14	4	9	6	12	6	10	5	7	113	9
来所面談	15	16	17	15	16	12	15	11	17	16	13	18	181	5
訪問面談	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	5	0
文書での相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	33	27	30	29	20	21	21	23	23	27	20	25	299	14

【住まいと住まい方に関する相談対応実績】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
関係機関との調整	6	2	2	1	1	4	2	5	3	0	1	6	33
住まいの斡旋・マッチング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援サービスの調整等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入居後居住支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	2	2	1	1	4	2	5	3	0	1	6	33

【住まいと住まい方に関する相談内容詳細】※1件の相談で2つの相談があれば2件でカウント

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住み替えに関する相談	2	2	2	0	1	0	1	0	0	1	0	1	10
転宅費用等に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修に関する相談	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4
その他	25	21	26	28	18	16	18	18	20	25	19	18	252
合 計	27	25	28	28	19	17	19	18	20	27	19	19	266

※その他の相談内容

- ・移動販売について
- ・かわはらさんちの利用について
- ・マスク着用の現状について
- ・親子での外出について
- ・草取りについて
- ・友達関係について
- ・携帯電話について
- ・介護サービスについて
- ・家族関係について
- ・物の紛失について
- ・気分の落ち込みについて
- ・障がい者サービスについて
- ・法事について
- ・認知症の方のかわはらさんち利用について
- ・食欲について
- ・物忘れについて
- ・体調について
- ・夫逝去後の暮らしについて

(2) つどいの場かわはらさんち

相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」は、高齢者等のふれあい交流の場として開放しております。利用者の自主的な活動としてDVDを活用した「うき8体操」を行ったり、ボランティアの指導によるおりがみ教室を実施しました。また、近隣のスーパー閉店により買い物に困難となった方が増えた為、かわはらさんち前の素盞鳴神社駐車場にて、毎週月曜日にとくし丸、水曜日にセブンイレブンによる移動販売も実施しています。いつまでも住み慣れた地域で暮らす一助となるよう、人とのつながりを大切にしたいの場づくりに努めています。

【かわはらさんち利用状況】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
75歳以上	73	73	68	77	46	54	59	53	52	31	31	66	683
65歳～74歳	3	9	5	3	0	4	3	2	4	4	5	13	55
15歳～64歳	3	0	7	24	1	6	4	3	0	0	2	14	64
15歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	79	82	80	104	47	64	66	58	56	35	38	93	802

(3) 認知症カフェの開設

今年度、「つどいの場かわはらさんち」を拠点に、うきは市地域包括支援センターの協力も得ながら、当事者、介護者、介護経験者、介護に興味がある方を対象とした認知症カフェを2回開催しました。第1回目は、9月25日に懇談会を実施し、11名の方が参加されました。参加者の介護経験の話から、その大変さと家族への思いが伝わりました。第2回目は3月19日に20名の方が参加され、ハーモニカ演奏会と懇談会を実施しました。ハーモニカの演奏を聞いたり、歌ったりして楽しく過ごした後、懇談会を行いました。

(4) 居住支援協議会への参画

うきは市では住宅確保要配慮者（低所得者、被災者、高齢者、障がい者、子どもを養育する家庭その他住宅確保に特に配慮を要する者）の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図ることを目的に、居住支援協議会を設置しています。居住支援協議会（書面開催）では、かわはらさんちに相談のあった事例を報告しました。相談事例の中には、入居後の生活に必要な福祉サービス等、住まいの相談をきっかけとした課題への対応に関係機関の協力が必要なものもあり、居住支援協議会のつながりは重要です。今後も、高齢者等が住み慣れた地域で最期まで暮らしていけるよう、住まいを含めた生活に関わる不安や課題を解決していくために、不動産事業所や関係機関とのネットワークを生かしながら、連携体制を継続し、住まいの支援を行っていきます。

- ・居住支援協議会視察対応協力（会場 つどいの場かわはらさんち）

3月13日 広島県立大学 教授1名、学生4名 「うきは市居住支援協議会～うきは市の状況～」

8. 資金貸付事業

低所得世帯及び経済的な困窮者に対して資金貸付制度の運用を行い、安定した生活が送れるように支援しました。資金の貸付にあたっては、民生委員の協力を得るとともに、貸付調査委員会の意見・答申のもと貸付を行いました。

【貸付調査委員会】

回 数	期 日	会 場
第 1 回	R7.1.7	うきは市総合福祉センター

【初回相談件数】

相談内容	件 数
生活費等	23 件
教育費	7 件
その他（問い合わせ）	6 件
計	36 件

（１）生活福祉資金貸付事業（県社協より事務委託）

生活福祉資金貸付制度は、福岡県社会福祉協議会が事業主体となり、資金の種類ごとに貸付の要件、貸付限度額等それぞれの用途に応じた貸付を行っています。本会では、その窓口として申込みなどの受付及び相談支援を行っています。

【生活福祉資金貸付状況】

資金種類	令和 6 年度取り扱い件数	（新規件数）	（償還完了件数）
総合支援資金	3 件	（0 件）	（0 件）
福祉資金	6 件	（0 件）	（0 件）
緊急小口資金	8 件	（0 件）	（0 件）
教育支援資金	70 件	（3 件）	（0 件）
合 計	87 件	（3 件）	（0 件）

※取り扱い件数に、新規・償還完了件数含む

（２）援護資金貸付事業

本会独自の貸付制度で、うきは市に居住される方が一時的に生活費などに困窮された場合に貸付を行いました。

【援護資金貸付状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
令和 6 年度内貸付	0 円	0 件	80,000 円	4 件	80,000 円	0 円	0 件
合 計	0 円	0 件	80,000 円	4 件	80,000 円	0 円	0 件

（３）育英奨学資金貸付事業

本会独自の育英奨学金として、低所得世帯の生徒に対し高等学校への修学資金の貸し付けを行っていましたが、国の制度や県など他の貸付制度も整備され、この貸付を利用されるケースが近年なくなりました。そのため、令和 3 年度から借入の申込みは休止しています。

【育英奨学資金貸付状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内償還額	件数	年度末償還残額	件数
貸付完了分	288,000 円	1 件	115,200 円	1 件	172,800 円	1 件
合 計	288,000 円	1 件	115,200 円	1 件	172,800 円	1 件

（４）生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援業務（特例貸付債権管理事務）

生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援業務（県社協受託事業）

福岡県社会福祉協議会の委託事業として、令和 4 年 10 月より資金を借り受けられた世帯において引き続き生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援を実施しました。具体的には、うきは市内の居住する借受人に対し、専用の相談窓口を設置した事を伝える案内文書の配布やホームページへの掲載、借受世帯へ電話での状況確認、償還に関わる免除や猶予の情報提供や手続きに関する支援を行ったほか、必要に応じて本会が行うフードバンク事業での支援や市など関係機関へ繋ぎました。

◆専用窓口の設置案内…うきは市在住で特例貸付の借受人の内、償還免除や猶予申請を行っていない 71 名に対して郵送（令和 6 年 5 月 13 日付）

【相談支援状況】

項目 / 月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談受付 ・ 対応件数	①来所	1	3	1	4	1	3	1	0	5	3	3	0	25
	②電話	5	9	2	3	3	4	4	4	6	1	4	3	48
	③メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④訪問	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	4
	⑤その他	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	6
	合 計	7	13	3	7	6	7	6	4	13	5	8	4	83
相談後の 対応	①社協による支援対応	0	4	1	3	0	2	0	1	4	4	1	0	20
	②関係機関へつなぐ	1	4	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	9
	③経過観察	5	5	1	3	2	4	6	3	7	0	3	1	40
	④その他	1	0	1	1	4	0	0	0	2	0	4	1	14
相談内容 (複数選択)	①お金・負債	1	5	2	2	3	6	2	2	8	4	2	0	37
	②仕事	1	0	1	3	0	1	1	0	3	0	1	1	12
	③病気・体調	2	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	8
	④住まい	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
	⑤家族・孤立	1	1	0	1	0	0	3	0	0	1	2	0	9
	⑥その他	2	3	0	1	3	0	0	0	0	0	3	2	14
	合 計	7	13	3	7	6	7	6	4	13	5	8	4	83
その他の 主な内訳	①償還免除に関する事	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	5
	②償還猶予に関する事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

※相談状況については、特例貸付借受人以外の生活困窮者も含まれます。

Ⅲ 在宅福祉部門

在宅福祉部門では、介護保険法、障害者総合支援法に基づくサービスとして、居宅介護支援（ケアプランサービス）、訪問介護支援（ホームヘルプサービス）、障害者就労支援（ワークサポート白鳥の家）の事業を行っていますが、利用者に寄り添うサービス提供を心掛けました。

ケアプランサービスは、新規相談を積極的に受け入れたものの、入院、入所、死亡により契約終了となるケースも多く、受任上限件数まで未達の状況でしたが、前年比よりも若干の増収となりました。

ホームヘルプサービスは、制度改正に伴う報酬改定で減額改定となり、訪問介護事業としてはかなり厳しい状況ではありましたが、新規利用者の積極的な受け入れによって、前年比 15.8%の増収となりました。

ワークサポート白鳥の家は、障害者就労継続支援 B 型事業の定員を 22 名としておりますが、常に定員に近い状態を保ち、なおかつ制度改正による報酬改定では、平均工賃支給額が高い事業所は増額改定となったこともあり、前年比 28.1%の増収となりました。また、就労移行支援事業を休止しておりましたが、就労継続支援 B 型事業から利用者 2 名の就職支援を行うことができました。就労移行支援事業は、今年度利用者がなかったことを受け、今年度末をもって事業を廃止しました。

1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）

令和 6 年度の年間延べ利用者数は、要介護者 756 名（前年比 43 名増）、要支援者 132 名（前年比 56 名増）となり、介護報酬は 7.6%の収入増でした。

要介護者は、新規利用者 38 名に対して、死亡 11 名、入院 21 名、施設入所 5 名でした。入院者のうち 10 名が退院され、在宅福祉サービスを利用しながら在宅で過ごされています。

職員は、利用者がより良い在宅生活を送られるように、事業所と密に連携を図りながら、利用者やご家族の支援を行ってきました。

単独事業では採算のとれない事業ですが、サービス利用の要であり、令和 7 年度も事業継続できるよう、引き続き、病院や包括支援センター、民生委員児童委員など、関係機関・団体への働きかけを強化し、利用者の確保を図っていきます。

□営業日：月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3 を除く）

□サービス提供時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（但し、24 時間連絡可能な体制を確保）

□職員体制：介護支援専門員 2 名

(1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

【居宅サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
作成件数	68	64	66	63	60	58	60	62	61	61	64	69	756	63

(2) 介護予防支援事業（浮羽地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

【介護予防サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
作成件数	9	10	10	9	12	12	12	10	11	13	12	12	132	11

2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）

訪問支援時の感染予防対策を継続して行いました。他事業所の閉鎖により、一時的に新規受け入れがありますが、入院、入所、死亡なども並行してあるため、利用者の大幅な増加には繋がらず、また今年度の制度改正により訪問介護分野は報酬減額改定となったため、事業運営としては更に厳しい状態となっています。

制度上では対応できない支援内容については、できるだけ利用者の希望に応じられるように、暮らし安心サービスの利用を促進しました。

【令和6年度新規利用者】

・介護保険事業：要介護者 11 名、相当サービス利用者 14 名

・障害福祉サービス：居宅介護 4 名

□営業日：年中無休（但し、12 / 31・1 / 1 を除く）

□営業時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

□サービス提供時間：午前 7 時～午後 9 時

□職員体制：ホームヘルパー 10 名（内、介護福祉士 6 名）

(1) 介護保険事業

①訪問介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

【訪問介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用者数	17	16	20	21	17	16	15	15	16	15	17	17	202	16.8
利用回数	140	131	157	191	162	167	156	145	141	113	136	146	1,785	148.8

②相当サービス事業：相当サービス認定者へのヘルパー派遣

【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用者数	30	30	29	29	31	36	34	35	35	35	32	32	388	32.3
利用回数	167	178	157	172	157	188	194	176	182	181	165	163	2,080	173.3

③緩和型サービス事業：訪問型サービスA認定者へのヘルパー派遣

【訪問型サービスA事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
利用回数	4	5	4	4	3	4	5	4	4	4	4	4	49	4.1

(2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護：障がい者へのヘルパー派遣

【障害者居宅介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用者数	14	14	14	14	14	15	15	16	17	16	15	16	180	15
利用回数	134	141	127	146	128	130	153	142	152	141	117	148	1,659	138.3

②同行援護：視覚障がい者のガイドヘルプ

【障害者同行援護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用者数	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	25	2.1
利用回数	15	20	15	15	15	17	15	15	17	16	16	17	193	16.1

(3) 受託事業

①移動支援事業（市受託事業）

障がい者の外出支援（ガイドヘルプ）

【障害者移動支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用者数	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	9	0.8
利用回数	1	1	0	1	1	5	2	1	0	1	0	1	14	1.2

②ひとり親家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

今年度は利用実績なし。

③受託居宅介護事業（グループホーム「オリーブ」受託事業）

今年度は利用実績なし

3. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）

令和6年度は就労移行支援事業を休止（利用者がいないため）し、年度末をもって事業を廃止しました。

就労継続支援B型事業では、通常の訓練や作業のほか、就労移行支援事業内容を継承し、一般企業の就職に向けた実習や訓練を行い、2名の利用者が就職することができました。また、就労移行支援事業の定員（6名）を就労継続支援B型事業にて受け入れるために、次年度からの定員増員（22名⇒30名）の申請手続きを行い、職員体制等の整備を行いました。

就労定着支援事業では、利用者（6名）の就職先を訪問し、利用者の職場定着を図るため、本人に寄り添った支援を行い、職場との連携を図りながら課題解決に努めました。

□開所日 月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）

□開所時間 午前9時～午後4時

□職員体制 管理者1名、サービス管理責任者1名

生活支援員1名、職業指導員3名、目標賃金達成指導員1名（就労継続支援事業B型）

就労定着支援員1名（就労定着支援事業）

(1) 就労移行支援事業

令和6年度事業休止 年度末をもって事業廃止

(2) 就労継続支援事業B型

□定 員：22名

□主な訓練・活動（作業）内容：

- ・日常生活に必要な知識、能力を向上させるための訓練（生活習慣、清潔保持）
- ・就労の機会の提供及び生産活動
- ・生活相談

【主な訓練、作業内容】

訓練・作業	訓練・作業内容
アルミ回収作業	ボランティアの方と一緒に回収、市民の方の提供品整理
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、クラフトかご作り、小物作り
スワンショップ	日用雑貨品の販売…(株)飛鳥産業、地域の方からの寄付物品を整理し販売
業者下請け作業	農産加工品袋・箱詰め（JAにじ農産加工センター）、袋詰め作業（Kimmy）、ドライフルーツ製造・袋詰め（池尻農園）、ピッキング作業（杉工場）、卵の検品・パック詰め（山もりたまご）、ワリフの整理（だいちに水）、ミニトマトの計量・パック詰め（アップルファーム）
パンの家スワンベーカリー	パンの製造販売、喫茶ルーム接客
喫茶あひるの子	コーヒー等飲み物、パンの販売、接客

□工賃実績：一人当たりの月額平均工賃 35,896 円 ※県指定計算式による
(令和 5 年度工賃平均額 21,401 円 (県)、21,393 円 (国))

□主な訓練・活動（作業）内容

- ・就労に必要な知識、能力を向上させる訓練（面接訓練、履歴書作成訓練）
- ・生産活動（下請け作業）
- ・職場見学・職場実習・トライアル雇用の支援
(実習先、雇用先の開拓と訪問、公共交通機関を利用した通勤訓練)
- ・求職活動支援（ハローワークへの登録・求人検索）
- ・職場定着支援（就職した利用者の職場訪問、相談対応）

【職場実習実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	4
実習日数	0	9	0	0	7	0	0	0	7	5	0	0	28

□実習受入事業所：ゆめマートうきは、サラダキッチン、うきは市総合福祉センター

【就労実績】 令和 6 年度就労者 2 名（過去累計 30 名 ※就労継続支援 A 型事業所就職を除く）

(3) 就労定着支援事業

□定 員：15 名

□主な支援内容：

- ・職場訪問による就労態度・職場状況の確認
- ・職場支援担当者と本人の意思疎通を図るための調整
- ・生活安定のための家庭訪問および助言
- ・本人および職場からの相談対応
- ・利用者間の交流を図るための取り組み（交流活動等）
- ・職場休業日の居場所支援（白鳥の家での受け入れ）

(4) ワークサポート白鳥の家事業実績

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
就労継続	利用者数	20	21	22	22	21	21	21	22	22	21	22	21	256	21.3
	利用回数	390	383	394	399	299	367	418	389	379	347	352	361	4,478	373.2
就労定着	利用者数	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	66	5.5
	利用回数	12	10	11	12	13	10	13	7	8	13	14	7	130	10.8

(5) 給食の提供

おかず、汁物のみ提供。ご飯は各自必要な量を持参していただいています。

□利用者負担／1食 300 円

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	18	18	19	17	17	17	17	17	17	17	18	18	210
提供数	328	328	312	318	253	294	339	304	255	272	294	307	3,604

(6) ワークサポート白鳥の家の主な行事

期 日	内 容	期 日	内 容
R6.4.19	タケノコ掘り（國武庵）	R6.11.17	大石地区福祉大会自主製品・雑貨販売
R6.5.2	社会福祉法人プロジェクト委員会 景観美化活動 吉井駅清掃活動	R6.11.17	休日ショッブ
		R6.11.22	避難訓練・垂直避難訓練
R6.6.1	プロ野球観戦（ヤフオクドーム）	R6.11.27	社会福祉法人プロジェクト委員会景観 美化活動プランターをうきは駅に設置
R6.6.3	あいの会食事会（お弁当の提供）		
R6.6.7	みずうみの会 廃油石鹸・ごきぶり団子作り	R6.12.2	収支報告会
R6.6.15	道の駅「まごころ販売」	R6.12.4	障害者週間まごころ販売出店 「北筑後保健福祉環境事務所（朝倉市）」
R6.6.17	健康診断		
		R6.12.8	うきは市人権フェスティバル出店

R6.7.1	収支報告会（大雨により中止）	R6.12.10	休日ショップ
R6.7.22	飾り山見学	R6.12.13	あいの会食事会（お弁当の提供）
R6.8.23	避難訓練	R6.12.20	交流会実施
R6.10.4	赤い羽根共同募金街頭募金	R6.12.25	餅つき（國武庵）
R6.10.12	道の駅うきは「まごころ販売」	R6.1.6	仕事始め、三社参り、お楽しみ会
R6.10.12	スワンベーカーリー改修工事	R7.1.30	うきは斎場・総合福祉センター見学
R6.10.20	御幸地区福祉大会自主製品販売	R7.2.16	卒業生のつどい
R6.11.8	健康診断	R7.3.21	日帰り旅行
R6.11.9	やまはるフルーツコンサートと ふくしのつどい 自主製品・雑貨販売	R7.3.25	社会福祉法人プロジェクト委員会景観 美化活動プランターをうきは駅より回収

（７）関係機関との連携・連絡調整

＊障害者就業・生活支援センターとの連携

利用者の就職希望等については、障害者就業・生活支援センター「ぼるて」や「ちくぜん」と連携し相談に応じました。また、就労定着支援事業終了者については、分担して継続的に支援を行いました。

＊地域障害者協議会就労支援部会等への参加

地域障害者協議会就労支援部会では、事業所間の情報交換、研修会等に参加し、職員の資質向上や事業所の支援向上に努めました。

・就労支援部会の開催状況

期 日	内 容
R6.4.10	今年度の活動内容について
R6.5.15	まごころ製品販売会（６月）打ち合わせ、ワーキンググループごとの打ち合わせ
R6.8.6	（生活支援勉強会）・講演会「障がい者消費者トラブルについて」
R6.9.18	まごころ製品販売会（９月）打ち合わせ
R6.12.6	（就労準備勉強会）・事例検討「一般就労に向けた日常訓練について」
R7.1.22	今年度の振り返り、来年度の活動について、情報交換

４．制度補足サービス

介護保険制度など法定事業の範囲では対応できないサービスについて、利用者や家族、介護支援専門員等の要望に応じ、社協独自のサービス提供を行います。

（１）暮らし安心サービス（うきは市ヘルパーステーション）

利用者や家族、介護支援専門員等の要望を受けて、介護保険並びに障害福祉サービス事業でのヘルパーでは対象とならない生活援助サービス（シンク排水修理、日除けシェード設置、資源ごみ出し、草取り、害虫駆除剤散布等）を提供し、在宅生活の継続支援を行いました。

□利用者負担／１回当たり

時 間	30 分未満	30 分以上 1 時間未満	1 時間以上 1 時間半未満	1 時間半以上 (30 分増す毎に)
身体介護	1,000 円	2,000 円	3,000 円	1,000 円
生活援助	800 円	1,600 円	2,400 円	800 円

【利用実績】 ※実利用者数 11 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	6	2	5	2	2	3	3	4	4	3	4	1	39	3.3
利用回数	8	2	6	2	3	3	3	4	5	3	6	1	46	3.8

５．連携・協働事業

うきはブロック介護サービス事業連絡会

うきはブロック介護サービス事業連絡会は、今年度より対面型の研修会等を徐々に再開し、各部会による定例会や講演会も順次開催されました。うきは市保健課や在宅医療介護連携センター事業（介護事業部会）、浮羽医師会からの講演会等の情報提供を一斉メール配信にて実施しました。

また、朝倉介護保険事業者協議会役員会との情報交換を行い、次年度より研修や講演会等の相互受講や、各部会ごとに情報交換など、有事に備えた繋がりづくりを進めていくことになりました。

IV その他

1. 実習・見学受入状況等

(1) 視察受入（総務企画課、地域福祉課）

期 日	団体・組織	人数	内 容
R6.7.10	佐賀県武雄市橘地区社会福祉協議会	18 名	うきは市の生活支援体制整備事業について
R6.7.30	小郡市大原校区民生委員児童委員協議会・ 立石校区民生委員児童委員協議会	22 名	令和 5 年 7 月豪雨災害におけるうきは市災害ボランティアセンターの設置・運営について
R6.10.7	春日市社会福祉協議会	5 名	生活困窮者自立支援事業について
R6.11.20	佐賀県武雄市朝日地区第 2 層協議体	22 名	うきは市の生活支援体制整備事業について
R7.1.28	熊本県菊池市地域人材づくり事業・ 地域福祉講座	26 名	うきは市における地域福祉活動について
R7.2.12	小郡市東野校区協働のまちづくり 協議会健康福祉部会	19 名	うきは市における地域福祉活動について
R7.2.17	沖縄県豊見城市社会福祉協議会	2 名	うきは市の生活支援体制整備事業について
R7.3.3	佐賀県武雄市武内地区第 2 層協議体	13 名	うきは市の生活支援体制整備事業について
R7.3.13	佐賀県武雄市市内地区第 2 層協議体	18 名	うきは市の生活支援体制整備事業について

(2) 社会福祉士相談援助実習

団体・組織	人数
久留米大学	1
計 1 団体 1 名	

(3) 訪問介護事業（うきは市ヘルパーステーション）

※今年度はヘルパー実習受入はありませんでした。

(4) 視察・見学受け入れ（ワークサポート白鳥の家）

①視察・見学受入

期 日	団体・組織	人 数
R6.5.30	うきは市御幸小学校 2 年生「まち探検」	19 名
R6.9.30	久留米三井老人クラブ	26 名
R6.10.23	大刀洗町身障者協議会	9 名
R6.11.28	久留米市三井校区人権啓発推進協議会	20 名
R7.1.21	御幸小学校 4 年生福祉体験（アルミ缶分作業）	30 名
R7.1.28	御幸小学校 4 年生福祉体験（アルミ缶分作業）	30 名
合 計	6 件	134 名

②実習受け入れ

期 日	団体名	人 数
R6.6.3 ～ 6.14	小郡特別支援学校高等部 2 年生（就労継続支援 B 型）	1 名
R6.10.28 ～ 11.18	小郡特別支援学校高等部 2 年生（就労継続支援 B 型）	1 名
R7.2.3～2.7	日田支援学校高等部 2 年生（就労継続 B 型）	1 名
合 計	3 件	3 名

2. 講演・事例報告等への職員派遣（地域福祉課）

期日	研修名	派遣職員
R6.6.21	JAM 九州山口労使会議 (災害ボランティアセンターについて)	天野事務局長 地域福祉課 西岡
R6.6.28	福岡県生活支援コーディネーター初任者研修 事例報告およびパネラー	総務企画課 中川
R6.11.15	福岡県保健福祉環境事務所主催 ひきこもりネットワーク会議事例報告	地域福祉課 高橋
R6.10.31	筑後ブロック民生委員児童委員協議会 会長会、関係行政機関合同会議 (福祉委員と民生委員・児童委員との関りについて)	地域福祉課 内木場
R7.2.27	浮羽乳幼児保健会 第24回「子育て講演会」 (こどもの貧困対策とうきは市社協の取り組みについて)	地域福祉課 相良

V 令和6年度 寄付者名簿

1. 香典返し寄付

香典返し寄付金 合計 258 件 5,462,500 円

2. 一般寄付

一般寄付金 合計 46 件 1,393,904 円

3. 物品寄付

物品寄付 合計 1 件 104,500 円

令和6年度 事業報告 附属明細書

社会福祉法人うきは市社会福祉協議会

令和6年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、定款第40条第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。

以上